

入試に関するイベントの情報など、
大学の最新情報は
大学公式ウェブサイト・SNSでお知らせします。



大学公式ウェブサイト

<https://web.aiu.ac.jp/>



受験生応援サイト

<https://admission.aiu.ac.jp/>



公式SNSアカウント



国際教養大学 アドミッションズ・オフィス
@aiu_admission



国際教養大学 / AIU
@akitainternationaluniversity



/ 国際教養大学 / Akita International University



国際教養大学 / aiu
@AkitaInternationalUniversity



交通アクセス Access to the Campus

空路

東京	約1時間10分	秋田
札幌	約1時間10分	秋田
名古屋	約1時間25分	秋田
大阪	約1時間25分	秋田

JR (秋田新幹線『こまち』)

東京	約3時間45分	秋田
仙台	約2時間15分	秋田

(2024年4月現在)



●JR最寄り駅・空港からの所要時間

秋田空港		車・タクシー・バス10分	
JR 秋田駅	JR奥羽本線12分	JR和田駅	車・タクシー・バス10分
	バス30分	イオンモール 秋田	自転車15分
		車・タクシー30分	バス15分
秋田空港I.C. (日本海東北自動車道経由)		車5分	

バスをご利用になる場合は必ず大学ウェブサイト等から最新の運行情報をご確認ください。



〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱
TEL:018-886-5900(代) FAX:018-886-5910
E-MAIL: info@aiu.ac.jp URL: <https://web.aiu.ac.jp/>



大学案内パンフレットの
請求はこちら

国際教養大学
シンボルマーク



グローバルな国際性を表した緑の地球から、未来への
びる若杉の姿を秋田の“α”で表現。若杉の姿は
“人”の文字をイメージし、世界に開かれたこの大学
から育ち飛躍する、地域社会や国際社会に貢献する
若々しい人材を表しています。

Be a Global Leader!
with AIU SPIRIT!

AKITA INTERNATIONAL UNIVERSITY 2024-2025



国際教養大学



あなたへと続くグローバルリーダーの系譜

「これまでにない大学」をつくる。国際教養大学はこの信念を掲げ、2004年に開学しました。「すべて英語の教育」「全員留学」——グローバル教育のトップランナーとして現在も走り続けています。激動する国際社会で次々と起こる課題に対しても、また、自分において難しい選択を迫られる場面でも、広範な知識を統合する知力や多様な人々と協働する力を発揮して、世界的スケールで考えて現場で行動し、解決に挑む人——それこそが「グローバルリーダー」です。開学から20年、本学は数多くのグローバルリーダーを育成してきました。ここでは第1期生までさかのぼり、国内外で活躍する各世代のリーダーを紹介します。この系譜を次につなぐのは、あなたです。

AIU 1st Graduates

Mariko TACHIKAWA

立川 真莉子さん

島根県／2004年入学（1期生）

留学先：韓国／高麗大学

専門分野：グローバル・ビジネス課程*

※開学時カリキュラムによる分類

キッコーマン株式会社
国際事業本部 海外事業部

本学1期生。開学直後の足りないものだらけのキャンパスで、初代学長をはじめとする教職員と一緒に大学づくりに尽力した。卒業後はキッコーマンに入社。3年間の国内営業を経て、国際事業本部へ。現在は東南アジア・オセアニア地域の現地法人と連携して商品開発やブランディング活動、海外事業の戦略策定に携わる。

諦めない。できる方法を考え続ける。

立川さんにとって「グローバルリーダー」とは？

自分のアイデンティティを大切にしながら、世界というフィールドで物事を推し進められる人だと思います。私にとっては、初代学長の中嶋 嶺雄先生がそんなリーダー像を体現する方でした。ふだんは穏やかなお人柄なのに、先頭に立ったときに発揮する推進力にはすさまじいものがありました。

シンガポール出張を終えた翌日にはインドネシアへ——。コロナ禍以前は海外出張がとて多く、ほとんど日本にいないような生活が続きました。死にものぐるいで働いた実感があります。私の仕事は、東南アジア・オセアニア地域の現地法人と連携しながらKikkoman商品やブランドを広めること。ハラル*商品のような現地文化になじむ商品の企画、ブランド認知向上のための展示会出展や広告出稿などを幅広く担当しました。海外では、私はその地の食文化を教わる立場ですから、現地の人々への敬意を忘れず、当社の海外ビジネスをともに担うチームとしての成長を、今も心がけています。

「死にものぐるい」といえば、AIUでの4年間がまさにそれでした。

※イスラーム法において合法な物事。

入学初日から早口の英語で行われるガイダンス。絶望的な量の宿題や予習。図書館に泊まり込んだりしながら、仲間と切磋琢磨して乗り越えました。人生で最も大変だったこの経験が「やればできる」という自信になり、海外と日本の往復生活を乗り切る力にもなったと思っています。

現在は子育て中でもあり、仕事と家庭の両立に日々奮闘しながら、主に日本から海外の市場データ分析や事業戦略づくりに携わっています。目まぐるしい日々ですが、1期生として入学したAIUで、教職員や同級生と一緒に、数多くの『初めての出来事』を乗り越えた経験を糧に、できない理由を探すより、できる方法を考える。学生時代から続く信念をもって、これからも挑戦していきたいと思っています。

AIU 7th Graduates



©UNHCRレバノン

Natsumi MORITA

森田 菜摘さん

千葉県／2010年入学（7期生）

留学先：イギリス／リーズ大学

専門分野：グローバル・スタディズ課程*

※2008カリキュラムによる分類

紛争地域で 困難に直面する 人々のために。

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）
レバノン事務所（インタビュー当時）

本学卒業後、パリ政治学院で人権及び人道支援分野の修士号を取得。在学中にUNRWA*インターン生としてレバノンで活動。外務省経済協力専門員、エジプトの難民支援団体でのボランティアなどを経て、2022年3月UNHCRレバノン事務所に赴任。難民に向けた支援情報提供に携わる。

※国連パレスチナ難民救済事業機関

レバノン共和国をご存じですか？ 地中海東岸に位置し、南はイスラエルと、それ以外はシリアと国境を接する国です。全人口の約4分の1が国外からの難民であり、その大部分がシリア内戦から逃れてきた人々。深刻な経済危機が続くレバノンで、厳しい生活を余儀なくされています。私は2022年3月にUNHCRレバノン事務所に着任し、難民のための情報発信を行っています。支援に関する情報やUNHCRからの最新ニュースなどを提供するウェブサイトの運営が主な仕事です。スマートフォンを使う人がほとんどなので、小さな画面でも見やすいコンテンツづくりを工夫しています。「重要な情報をどうもありがとう」という利用者の声が届き、励みになります。また、難民として大変な経験をしてきたにもか

わらず、自分が属するコミュニティをより良くしようと立ち上がる人々の姿に感銘を受ける毎日です。

AIUには、紛争地域で苦しんでいる人々のために何かがしたいという漠然とした思いを携えて入学しました。国連で働くという進路を描き、AIU在学中にクウェートで1年間のアラビア語留学も経験。帰国後のインターンシップで関係ができた駐日アフガニスタン大使館から講師を招き、大学で講義をしてもらったことは、いい思い出です。チャレンジする気風に満ちたAIUだからできたことだと感じます。レバノンでの私の任期は間もなく終わりますが、入学時の思いは変わりません。祖国を追われ、困難に直面する人々の支援にこれからも力を尽くします。

森田さんにとって「グローバルリーダー」とは？

国連では、実に多様な価値観を持った人々と一緒に働くことになります。日本の常識は、全く通用しません。そんな人々にも自分の考えが伝わるよう言語化し、相手の声にも耳を傾けて議論し、合意形成を図る。そんな大変な作業がごく自然にできる人。それが私にとってのグローバルリーダーです。

日本の良さを、次の世代へつなげていく。

AIU での学びを通して、国際社会に対する知見を深め、世界中の学生と語り合う中で、ある思いが芽生えました。それは、「日本が好きだ」という感情です。世界への理解が深まるにつれて日本の歴史や文化、平和などを再認識し、この良さを次の世代に伝えていくことが、今を生きる私たちの責任だと考えるようになりました。防衛省を志望したのは、そんな日本の平和・独立・安全を守る防衛省・自衛隊と、日本国民や国際社会をつなぐ「架け橋」になりたいと思ったからです。入省1年目は自衛隊の部隊訓練を所掌する部署で、省内外の関係先地元などとの連絡調整に携わりました。各国の航空機や艦船が集結する共同訓練の現場に臨んだとき、この仕事のスケールの大きさを身をもって感じました。現在は大臣官房文書課という部署で、省が一体となって効果的・効率的に施策を進めるための調整業務に日々奔走しています。その中で私は「相手を尊重して誠実に向き合う」ことを最も大切にしており、この姿勢は、AIU において多様なバックグラウンドを持った仲間たちと学び、刺激を与え合った中で培われた、私の一生の財産です。

Kazuki ISHIGAMI

石上 和希さん

秋田県／2017年入学(14期生)

留学先：シンガポール／シンガポール国立大学

専門分野：グローバル・スタディズ課程 東アジア分野*

※2008カリキュラムによる分類

防衛省 大臣官房文書課

幅広い分野に触れてから専門分野を決めたいと考えAIU を選び、国際関係論を中心に学びを深める。リサーチペーパーではインド・中国関係の歴史と展望を論じた。防衛省に事務官として入省し、本省内部部局防衛政策局訓練課に配属。現在は大臣官房文書課に勤務。

グローバルリーダーの系譜

AIU 14th Graduates

石上さんにとって「グローバルリーダー」とは？

いろいろな考え方を持つ人々をつなぎ、物事を前に進められる人。国際社会だけでなく、日本国内にも多様な意見や文化的背景を持つ人がいます。違いを受け入れて楽しみながら、全員のベクトルを合わせていける人だと思います。

グローバルリーダーの系譜

AIU 16th Graduates

稲川さんにとって「グローバルリーダー」とは？

多様な人々を巻き込んで困難に立ち向かい、事を成し遂げられる人です。入社1年目の私はまだ諸先輩方の力をお借りしている段階。毎日が挑戦です。いつかは海外で活躍する人材になれるよう、しっかり経験を積んでいきたい。

GRIT－思わぬ事態に立ち向かう力。

中南米から太平洋を渡って極東へ、穀物や鉱物資源を運ぶ船の運航管理を担当しています。荷積みから荷揚げまで約3か月もの長期にわたり、次々と起こる想定外の出来事にも対処しながらスムーズな運航を支える仕事です。チリと中国にある現地法人との会議や多国籍の乗組員との連絡など英語を多用する職場です。AIUで身につけた英語力と難局打開への「気合い」が役に立っています。AIUに入学した理由の一つは、留学がカリキュラムに組み込まれていることでした。しかしコロナ禍に遭遇し、予定していた留学を2度も断念せざるを得ない事態に、次善の策としてアメリカの大学にオンライン留学。13時間の時差に耐えて深夜から早朝まで授業に参加し、授業後も教授に質問するなど積極的に学んだ結果、全科目でA評価を取得し、NSCS*に招待されました。それでも渡航留学が諦められなかった私は、卒業に必要な全単位を4年次前期までに修得し、最後の半年間でタイ留学を実現して、4年間で卒業しました。問題にぶつかったとき、何をすれば状況が好転するかを考えて行動する習慣。これもAIUで手に入れた私の財産です。

※The National Society of Collegiate Scholars：全米優等生協会

Yuma INAGAWA

稲川 夕真さん

愛知県／2019年入学(16期生)

留学先：アメリカ／ケンタッキー大学(オンライン留学)

タイ／チュラロンコン大学

専門分野：グローバル・ビジネス課程*

※2008カリキュラムによる分類

日本郵船株式会社 (NYKバルク・プロジェクト株式会社に出向中)

高校は理系を専攻。ひょんなことから参加したAIUの模擬授業が契機となり急遽進路変更。入学動機の留学を叶えるまでの道のりは本文にあるとおり。卒業後は日本郵船株式会社に入社。グループ会社のNYKバルク・プロジェクト株式会社・中南米チームで活躍中。

「これまでの日本になかった、世界基準の大学をつくろう」
20年前に掲げた開学の思いは、
今も国際教養大学のキャンパスに生きています。

すべて英語で開講される授業
それに必要な高度な英語力の獲得
大量に課される課題
真剣に学ばなければ進級や卒業が難しい厳格な成績評価
世界の大学に1年間の留学義務
そして、多様な文化的背景を持つ留学生との共同生活――

ここでしか経験できない数多くのチャレンジの積み重ねが
世界とあなた自身の未来を切り開く力を育てます。

世界のどこでも 発揮できる本物の力を

国際教養大学 ミッションステートメント

国際教養大学は、「国際教養教育」を教学理念に掲げ、グローバル社会におけるリーダーを育成することを使命とする。国際教養教育は、世界の広範な事象に関する幅広い知識と深い理解、物事の本質を見抜く洞察力や思考力、これらの上に築かれたグローバルな視野とともに、英語をはじめとする外国語の卓越したコミュニケーション能力を涵養する。国際教養教育を受けた者は、確固たる「個」を確立し、道義心の修養を通じて開かれた高潔な精神と情熱を持って時代の諸課題に立ち向かい、自らが暮らす地域や所属する国家のみならず広く人類社会に貢献する。

求める学生像

国際教養大学は、その理念に共感する次のような学生を求めています。

主体的に学ぶ意欲が強く、鋭い問題意識を持つ学生であって、

社会科学、人文科学、自然科学の広い分野について均衡のとれた基礎学力、論理的、批判的、創造的な思考力を身に付けた学生あるいは特定分野について卓越した経験や能力を有しながらより広い分野について学修を深めようとする意欲を持つ学生

海外での学修経験や諸活動への参加経験、国内での国際交流事業などに積極的参加を経験するなど世界の多様な文化、言語、歴史、社会などの国際関係について強い関心と探求心を持つ学生

国際社会を舞台に活躍できるような実践的な外国語運用能力（特に英語）と、幅広い教養の修得を志す学生

進化する国際教養教育 ― AIU20年の歩み

2004年 4 月 開学、初代理事長・学長 中嶋 嶺雄（～2013年2月）

2006年 4 月 学部入学定員を100名から130名に増員

2008年 3 月 1期生が卒業、新図書館 国際教養大学図書館竣工

2008年 9 月 専門職大学院「グローバル・コミュニケーション実践学科」設置

2011年 4 月 学部入学定員を150名から175名に増員

2011年11月 日本学術振興会「大学の世界展開力強化事業」に採択

2012年10月 文部科学省「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」（旧グローバル人材育成推進）事業に採択

2013年 6 月 鈴木 典比古 理事長・学長就任

2013年 9 月 能動的学修支援センター（ALSC）設置
国際教養教育推進センター（CPILAE）設置

2014年 9 月 文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業（グローバル化牽引型）に採択

2016年 9 月 国際教養教育推進機構設置

2021年 4 月 学科再編および新カリキュラム導入

2021年 6 月 モンテ・カセム 理事長・学長就任

2022年 4 月 応用国際教養教育推進機構設置
（国際教養教育推進機構とアジア地域研究連携機構を統合）

◀ 大学名に込められた教学の理念

中嶋 嶺雄初代学長が遺した大学の名称案の走り書き。
「わが国の高等教育から失われた豊かな教養教育の確立と実践的な外国語コミュニケーション能力の養成を目指す大学を」――いくつもの案を検討する中で、その想いと理念がフォーカスされていった過程が見えるようです。

CONTENTS

国際教養大学 2024-2025

01	グローバルリーダーの系譜
08	国際教養大学の教育理念／ ミッションステートメント／ 求める学生像／AIU20年の歩み
10	学長メッセージ
12	数字が語る！AIUの独自性
14	応用国際教養教育【AILA】
18	統合知と人間力を結びつける実践の場
22	中嶋記念図書館
24	能動的学習センター（ALC）
26	AIUだけの教育システム 5つの特長

FEATURE 01

28	すべて英語の少人数授業
30	英語集中プログラム（EAP）
32	グローバル・ビジネス領域（GB）
34	グローバル・スタディーズ領域（GS）
36	グローバル・コネクティビティ領域（GC）
38	教職課程
39	日本研究プログラム／日本語プログラム
40	科目一覧
42	教員紹介

FEATURE 02

46	1年間の留学義務
48	提携大学一覧
50	留学先からのメッセージ

FEATURE 03

52	多文化共生のキャンパスライフ
54	学生寮〈こまち寮〉／学生宿舎
56	学生活動／学生生活Q&A
58	キャンパスマップ

FEATURE 04

60	多彩な可能性を広げる進路選択支援
62	就職実績／社会で活躍する先輩たち
64	大学院進学支援
65	国際教養大学 専門職大学院

FEATURE 05

66	多様な人材を発掘する入試制度
67	新入生の声
68	入試制度一覧

72	学費と奨学金／ガバナンス
裏表紙	大学公式ウェブサイト・公式SNSアカウント／ 交通アクセス



創造的
挑戦
不変的
価値
激動の
時代

Global Challenges
Timeless Values
Our Responses

学長メッセージ Message from the President

現代社会はいっそう急速に、グローバルに変化を続けています。激しい社会変化を象徴する事例の一つに、DX(Digital Transformation)があります。デジタル技術の開発は情報工学の専門家が担いますが、新技術を入々の豊かな暮らしに応用する手立ては、学問分野を越えた視点を持つ者にしか見いだすことはできません。また脱炭素社会の実現を目指すGX(Green Transformation)では、各国と協調しながら世界を動かすリーダーシップが求められます。このような、時代が求める人材の育成に努めてきたのが国際教養大学です。

国際教養大学は、グローバルリーダーの育成を目的として20年前に開学し、世界に通用するリベラルアーツ教育を展開してきました。意欲的で多様性に富む学生が全国・全世界から集い、幅広い領域に及ぶ科目群を切磋琢磨しながら学んでいます。学びのフィールドは、キャンパスをハブとして秋田県全域へ、世界各地へと広がっています。企業や自治体と協働して課題解決に挑み、また、世界トップクラスの大学へ一人で乗り込んで様々な苦勞を乗り越える中で、幅広い知識と人格を備えた人材へ成長していきます。20年前に掲げた理念は、今も色あせることはありません。

その一方で、ますます混沌とする世界をたくましく生き抜くには、さらに高いレベルでの応用力が求められます。そこで本学は、「応用国際教養教育(Applied International Liberal Arts : AILA)」という新たな教育手法を、2021年度から導入しました。統合知(多分野の知識を掛け合わせて問題解決を図る力)と、人間力(自律性、倫理観、忍耐力、貢献の精神など)を養うための学修環境を用意して、学生の成長を後押ししていきます。今後、世界の不確実性がどれだけ増そうとも、また、いかなる高度デジタル社会が到来しようとも、世界中の人々と繋がりながら創造的に課題を解決していけるグローバルリーダーの重要性が変わることはありません。AILA が生み出す無限の可能性と一緒に切り拓こうという志のある皆さんの参加を心からお待ちしております。

モンテ・カセム

公立大学法人 国際教養大学 理事長・学長

Monte CASSIM

1947年スリランカ生まれ。スリランカ大学卒業後、1972年来日。東京大学大学院で都市工学を学び、三井建設、国際連合地域開発センターなどを経て1994年立命館大学教授に就任。立命館アジア太平洋大学学長、学校法人立命館副総長、大学院大学至善館学長を歴任。2016年瑞宝中綬章を受章。2017年スリランカ政府より国民英雄(Vidya Nidhi)の称号を授与された。専門は環境とライフサイエンス。2021年6月から本学理事長・学長。

国際社会に貢献できる 人材育成を目指して

「国際教養教育」という教学理念を掲げ、グローバル時代に対応した人材育成を目指す国際教養大学に、各界の皆様からメッセージが寄せられています。



1957年日本人初の国連職員
以後、数多くの
重要な国際問題に取り組む

明石 康さん 明石 康
元国際連合事務次長
Dr. Yasushi AKASHI

グローバル化時代は、異なる民族や文化に属する人たちが、互いのアイデンティティを自覚しつつ、寛容の精神や相互理解を育む時代です。国籍やバックグラウンドの違う人たちと協力して仕事を組み立てられる人が求められています。広い国際的視野を持ち、真の教養と語学力を身に付けられる大学が私の郷里に創設され発展していることは喜ばしいかぎりです。



豊かな国際感覚で活躍する
日本のオピニオン・リーダー

大宅 映子さん 大宅 映子
評論家
公益財団法人 大宅壮一文庫 理事長
Ms. Eiko OHYA

これからの日本を考えた時、世界の中で堂々と渡り合える人間をどれだけ増やせるか、が重要です。英語という言葉は単なるツールであって、自分が主張したいことが先になくはいけません。これが教養であり常識です。英語を勉強の目的ではなく、ツールとして使い、本気で勉学に励んでいる学生さんたちの未来は明るい、と確信しています。



貿易国日本を物流で支える
グローバルリーダー

長澤 仁志さん 長澤 仁志
日本郵船株式会社
取締役会長
Mr. Hitoshi NAGASAWA

グローバル化や情報通信技術の発展によって相互が複雑に絡み合い急速に変化し続けるこれからの国際社会において、その中心にあるのは間違いなく人であり、将来を力強く切り拓くのが個々の人間力であることは昔も今も変わりません。皆さんの学生生活における様々な挑戦を通じ、外部環境の変化に動じることのない普遍的な力を身につけていかれることを願っています。



A Leading Commentator on
East Asian Affairs

トマス・ゴールドさん
東アジア学の第一人者
カリフォルニア大学
バークレー校 名誉教授
Dr. Thomas GOLD

I have watched AIU grow from a vision to a thriving and dynamic global university in every sense of the word. Its international faculty prepares students not only to use English at a professional level, but also to become truly global citizens through the unique opportunity to study at one of over 200 partner institutions overseas. AIU is challenging other universities in Japan to globalize as well, thereby helping the nation better meet the challenges of the 21st century.

※役職は2024年4月1日時点

THE 日本大学ランキング 2023年度

総合 **15** 位 教育
充実度 **2** 位



学生数が20名未満の授業 (2023年秋学期)



73.3%

50名以上の授業は1.6%

大学通信

2023年度調査
グローバル教育に
力を入れている大学

第 **1** 位

2022年著名400社
業種別実就職率
商社編

第 **2** 位

海外の提携大学数

51 力国・地域の
203 大学

(2023年9月1日時点)

海外の大学院への進学率

58.8%

※大学院進学者数に対する率 (2023年9月1日)

学生数(学部生)

803 名

(2023年9月1日)

数字が語る! AIUの独自性



GOOD DESIGN
AWARD 2023
BEST
100

本学の学びの **グッドデザイン賞・**
しくみと環境が **ベスト100を受賞**

英語による授業科目

100%

TOEFL ITP®TEST

平均スコア **559.1**

(2023年4月入学の学生、入学から半年後の平均点)

キャンパス内 留学生の割合

4 人に **1** 人 (2023年9月1日)



キャンパス内 居住率 (学生寮・ 学生宿舎)

88%

(2023年9月1日)



就職決定率 (2024年3月)

100%

リベラルアーツは、一歩先へ

応用国際教養教育【AILA】

Applied International Liberal Arts

統合知と人間力を兼ね備えた グローバルリーダー育成のために

国際教養大学はこれからの社会で求められるグローバルリーダー像を「知力と人格に優れ、責任感と情熱を持って世界の舞台で行動できる人間」と定義しています。その実現に向けた本学独自の教育のしくみとして、応用国際教養教育【AILA】を導入。知の統合と人間力を両輪として育むのがAILA教育です。



▶ 統合知 多彩な知識体系を掛け合わせて問題解決を図る力

様々な領域にわたる広範な知識体系を身につけ、状況に応じてそれらの知識を関連付けながら応用し、最適解を導き出す力。この力を「統合知」と呼びます。

広範な知識



論理的思考力

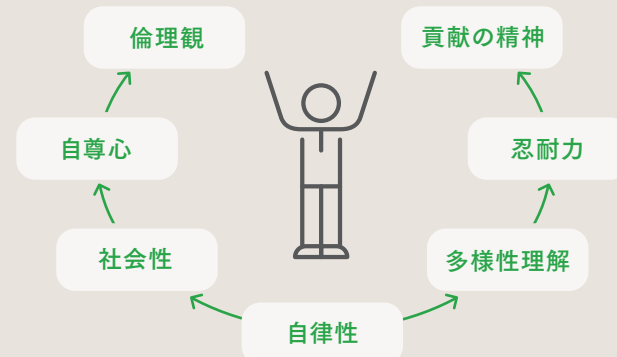


問題解決力



▶ 人間力 人々を巻き込み、統合知を社会で実現する力

統合知をグローバル社会で活かすために欠かせないのは人間力です。確固とした「個」を備えつつ、自分とは異なる価値観を認め、粘り強く合意形成する力。そしてより良い社会をつくるために全力をつくすという決意。こうした「人間力」は、人から教わるものではなく、本学での経験や環境によって育まれます。



AILAの構造：統合知と人間力を強化するしくみ

統合知強化

世界を知り、世界で活躍するための「英語」

経済や産業も文化・芸術も、世界を舞台に展開する時代。そこで共通語となるのは英語です。本学では、すべての授業を英語で開講し、学術的な英語運用力を鍛えます。この力は、あなたが見る世界の景色と可能性を格段に広げます。

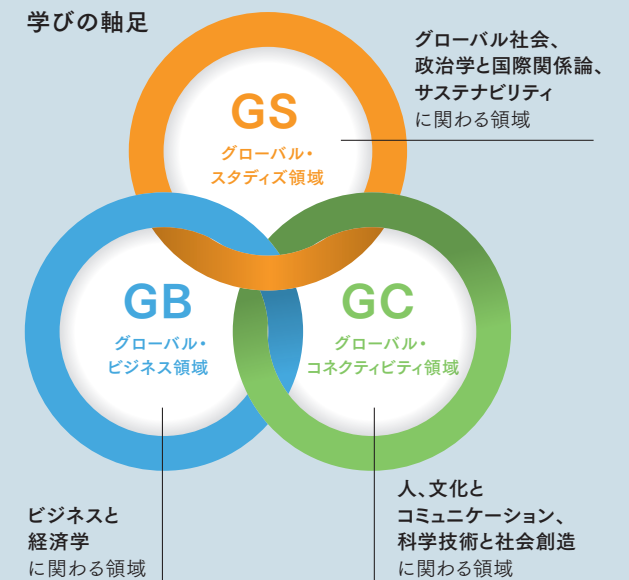


広範な知識を掛け合わせて 自分の答えを出す

授業は「教わる場」ではなく、「自ら学ぶ場」です。これまでに学んだ知識を総動員して掛け合わせ、教員や学生との議論を通じて、自分なりの回答を導き出す——その回路を作る場が、本学における授業です。

幅広い分野の知識を統合しながら学ぶ

変化が加速し、不確実性が増していく現代において、未来を展望するために必要な3領域を、教養専門科目として体系化しています。学生は各自の関心に応じて1領域を「学びの軸足」として選択し、他領域の知識との統合を意識しながら学びを深めていきます。



世界や実社会とつながる学びの場

貴重な学びの機会となる 留学義務

1年間の海外留学が卒業要件になっています。世界中の優秀で意欲的な学生と対等に渡り合いながら統合知を鍛えるとともに、異文化の中で自分や日本を見つめ直すことができます。

社会での実践で 学びの成果を実感

地域に遍在している社会課題や企業が直面する経営課題などの解決に挑むプロジェクト科目を開講。大学で得た知識や経験が現実社会にも応用できることを確認する絶好の機会となります。

人間力強化

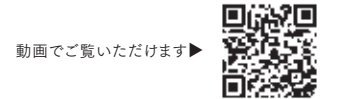
世界から集う多様な学生とともに過ごす

多様な文化的背景や価値観を持つ学生が一つの教室で学び、寮や宿舎とともに生活する中で、視点や立場が異なる人々の心に響くコミュニケーション能力と、信頼・共感を得られるような人格が養われます。

様々な気づきが得られる地域交流活動

学生たちが主体的に企画し実行する地域交流活動を大学が支援します。価値観の異なる学生同士で協力し合う経験や、世代や立場の異なる人々との交流が、学生の人間力を高めます。

応用国際教養教育【AILA】のしくみ

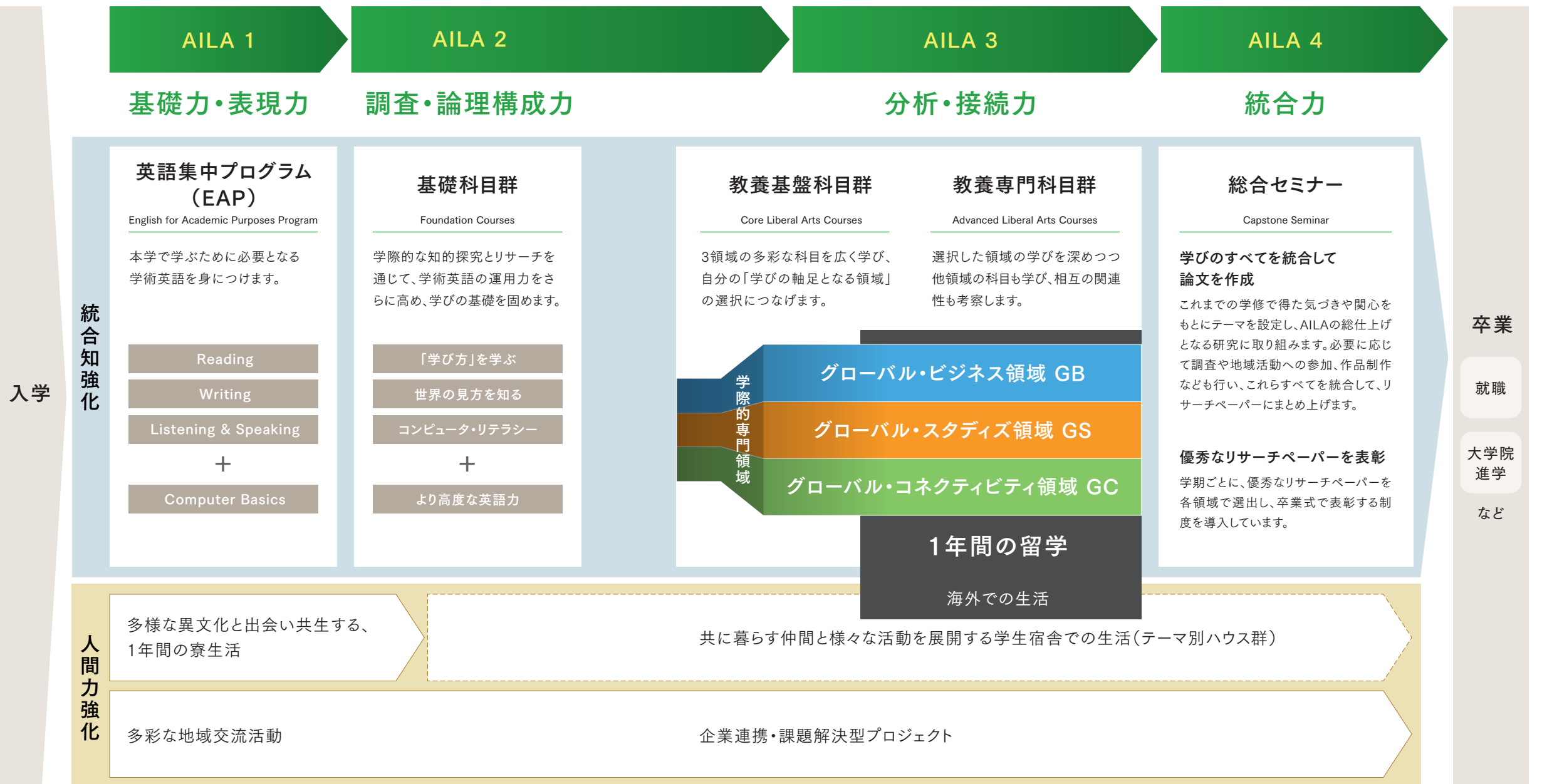


AILAは4つのステージで構成されています。「1年間学んだら自動的に進級」という形ではなく、各ステージに設定されたレベルに達した学生だけが次のステージに進める仕組みであり、基礎力から統合力まで着実に身につけることができます。

世界基準を用いた成績評価

世界に通用するグローバルリーダーの育成を目指す本学では、国際的基準であるGPA*を用いた成績評価手法を導入しています。これにより海外大学への交換留学と単位修得が可能となり、卒業後は世界の名門大学院に進学する道も開けます。

※Grade Point Average:成績評価平均点



厳しいからこそ力がつく教育

日本語を一切使わない授業、各科目で課される膨大な自主学習、高い基準を満たさなければ進級・卒業が許されない成績評価システムなど、日本の大学ではまれな厳しい教育を行っています。統合知を深く刻み込むとともに、世界のどこでも通用する胆力や自律性を養うための厳しさと言えます。



学生の伴走者、アカデミック・アドバイザー

すべての学生に専任教員がアドバイザーとして選任され、本学での学業や学生生活をサポートします。教養専門科目の領域選択や留学先の決定、あるいは卒業後の進路などで重要な決断が求められるとき、アドバイザーは学生と真剣に向き合い、困難を乗り越えられるよう支援します。



統合知と人間力を結びつける実践の場

多彩な知識体系を掛け合わせて問題解決を図る「統合知」と、人々を巻き込み統合知を社会で実現する「人間力」。

2つの力を結びつけるために、地域社会・国際社会の人々とともに実践しながら学ぶ場を数多く用意しています。

知識を統合し応用・実践する授業形態

AILAプロジェクト

現実的な課題を設定し、少人数のグループでその解決に取り組む中で、知識の統合とその応用・実践をする機会がAILAプロジェクト。これらは、教職課程以外のすべての授業で展開されています。また、応用・実践する場を海外にも広げ、プロジェクトチームを組んで実践するPBL(Project-Based Learning:課題解決型科目)もあります。

AILAプロジェクトの授業例



持続可能な開発のための コンサベーション

SUS311 Conservation for Sustainable Development

自然環境が世界の経済・社会に果たす役割を理解し、学生が持続可能な開発の担い手となるよう、環境保全の課題を考察します。例えば「持続可能な土地利用の実現」といったテーマについて、少人数のグループでその方法を検討し、レポートを作成します。この経験を通じて、協働で問題解決の方法を導き出す術を身につけます。

PBLの授業例

国際協働課題解決型プロジェクト International Project-Based Learning

水野 智仁 Dr. Norihito MIZUNO(事業推進責任者)

ASEAN地域の提携校との国際協働PBLを実施しています。国内外での講義、フィールドワーク、発表・討論、レポート作成を通して、各地域に関連した課題解決に取り組みます。この経験を通して分析力・考察力を養うとともに、チームで課題解決に取り組む能力の獲得を目指します。過去には、秋田県とタイ東北部における持続的な地域発展の可能性を探るPBLなどを実施しました。



AIU×秋田県内企業連携プロジェクト

▶ フランス人が行列を作った「駅弁ショップ」の出店プロジェクトに参加



秋田県JR大館駅の名物駅弁「鶏めし弁当」を製造販売する株式会社花善が2021年11月から6カ月間、パリのリヨン駅構内に「EKIBEN ToriMéshi Bento」を出店。このプロジェクトに、県内の小中高校生とともに本学学生5人が参加しました。学生たちは、東京でも京都でもない秋田の魅力を表現するため、「Province d'Akita Bento(田舎から来た秋田のお弁当)」というネーミングを提案するなど、パリで秋田らしさを伝えるために試行錯誤を重ねました。販売期間中は、数多くの現地メディアやYouTuberが訪れて「おいしい!」と絶賛。「秋田でしかできない経験がある!」と実感できる取り組みとなりました。本プロジェクトは、クールジャパン官民連携プラットフォーム主催の「CJPFアワード2023」プロジェクト部門で準グランプリを受賞しています。



産学連携による課題解決プログラム

AIUデザインLAB



基礎編として、課題解決に有効な手法「デザイン思考」を企業と協働で修得し、応用編として、課題解決のためのビジネスアイデアを創出する「LAB2:事業創造プロジェクト」や、企業が持つ課題を共に解決していく「LAB3:秋田県内企業課題解決型学修」に取り組みます。課題解決能力の向上に加え、地域の活性化にもチャレンジしています。

LAB3:デザイン思考実践:秋田県内企業課題解決型学修

CCS240 Design Thinking in Exploratory Action CCS250 Design Thinking Practicum

それぞれの企業が抱える課題(テーマ)について、企業と学生が協働で、調査・研究・解決策の立案に取り組みます。学生の柔軟な発想と企業の深い知見を融合させることで、相乗効果が生まれ、新たなアイデアが創造されることを期待しています。

事例紹介

AKT秋田テレビ 「AKTアプリ」をZ世代に浸透させよ!

テレビを持たない、スマートフォンを使用するZ世代へどうアプローチするか?
「AKTアプリ」をZ世代に浸透させ、これからのローカルTV局のあり方の提案に挑戦しました。



アプリ内に 特設ページを制作

学生による秋田の魅力発信や国際交流の場を提供し、地域と若者をつなぐコンテンツを制作しました。

YouTube 生配信リポーター

「AKT夏まつり&すばちば!」のYouTube生配信を企画。リポーターによる現地ロケなどに挑戦しました。



アプリ内 割引クーポンの発行

大学の近隣の飲食店にプレゼンをして、割引クーポンを発行していただきました。

テーマ例

- 秋田のものづくりの現場に飛び込み・体感し、秋田の魅力を発信せよ!!
- 縮小する国内需要を見越した海外販路拡大に資するプロダクトや販売戦略を創造せよ!
- ポストコロナ時代の新たな旅のあり方をデザインし、秋田への人の流れや学びの活性化を実現せよ!

▶ 世界最大規模の食品見本市「SIAL Paris」に秋田特産品を出展する企業をサポート

2022年10月にフランス・パリで開催された国際食品見本市「SIAL Paris」で秋田の伝統食品を紹介するプロジェクトを、企業と連携して実施しました。出展企業は、稲庭うどんを製造販売する株式会社稲庭うどん小川と、いぶりがっこを製造販売する有限会社まこと農産の2社。参加した学生5人は2チームに分かれ、世界中から集まるバイヤーの心に響くネーミングやパンフレット作成、本学留学生も動員したテストマーケティングなどを行いました。開催2カ月前には学生が渡仏し、現地のレストランに飛び込みで訪問。味の評価や応用レシピの提案を受けて両企業にフィードバックを行いました。学生の意見や行動がグローバルビジネスを動かすことを体感する機会となりました。




共同生活する仲間とテーマ活動を推進

テーマ別ハウス

「テーマ別ハウス」とは、同じテーマに関心を持つ学生たちが同じ学生宿舎に入居し、1学期間にわたって共同生活しながら様々な活動を行うものです。学生が発案したテーマのもとに仲間が集い、テーマに沿ったイベントを企画・運営します。この取り組みは、キャンパス内での生活オリベラルアーツ教育の一環と捉え、自分の力を絶えず高めていくことを目的としています。

ウェブサイトで
テーマ別ハウスの活動を
詳しくご紹介しています。



テーマ別ハウス 活動の流れ (春学期の例)	4月	全体集会(Student Assembly)にて、各ハウスが春学期の活動計画を報告。	
	4～7月	各ハウスのテーマに沿って活動。	
	6月	テーマ別ハウスフェアを開催。秋学期のメンバー募集のための活動紹介と、新たなテーマ*に取り組みたい学生によるプレゼンテーション。	
	7月	学期末の学期活動報告会にて、ポスタープレゼンテーションを実施。各ハウスでリーダーシップを発揮した学生には「Leadership Award」で表彰されます。	

※テーマ別ハウスの設立には、専任教員によるアドバイザーと最低6名のメンバーの応募が必要です。設立が決まると活動資金の援助が受けられます。

代表的なテーマ別ハウス

日本語ハウス

学生・留学生が毎日日本語で会話することにより、異文化理解を深め、異文化コミュニケーションに対する柔軟な態度を養うことを目的としています。地域の方々とのワークショップ、外国人講師によるセミナーのほか、日本語や日本文化に関わる各種アトラクションを企画・開催しています。

事例紹介 おにぎりワークショップ

秋田市内のおにぎり屋さんから講師を招いて、おにぎりの歴史や作り方を学ぶとともに、思い思いの味と形のおにぎりづくりに挑戦しました。「食」を通じたコミュニケーションは、言語や文化の違いを越えて楽しめることを体感するワークショップとなりました。



ウェルビーイングハウス

学生の身体的・心理的・社会的な健康状態を高めることを目的としています。ヨガや瞑想、心理学・神経科学、ストレス&エネルギーマネジメントに関するワークショップを通して、学内外のコミュニティと学びを共有し、人々の幸福の向上に積極的に貢献できる人になることもねらいの一つです。

事例紹介 アバター・アート・セラピー

個性・欲求・感情・アイデンティティを表す方法を体得するアートワークショップを行いました。インドに古くから伝わる伝統的哲学「アーユルヴェーダ」の考えに基づき、自身の魂や性格、気分などをマルチメディア・アートによるアバターで表現しました。



AIU生の強みを社会に還元する

教育連携・産学連携活動

本学では、独自の教育手法や学際的な国際教養教育の強みを活かして、教育連携活動や産学連携活動を積極的に展開しています。こうした大学の地域貢献活動に学生達も積極的に参加し、今持っている強みを社会で活かし、また将来に向けた新たな力を身につけています。

日本の英語教育改革に向けた教育連携活動 イングリッシュビレッジ

中高生を対象に「英語を英語で学ぶ」イングリッシュビレッジプログラムを2泊3日で開催し、英語教育改革の一翼を担っています。このプログラムで講師をするのは、本学の学生(大学院生、学部生、留学生)たち。事前に教員からトレーニングを受け、英語で中高生に教えるという経験から、学生たち自身も大学の授業だけでは得られない気づきを得て、自律的かつ能動的に成長をしています。同時に、全国から参加している中高生は、国際教養大学というグローバルな環境での新しい英語学習を楽しんでいます。



産学連携で秋田県の課題解決に貢献する DX-データサイエンス人材育成プログラム

秋田県が抱える課題重点領域に対して、本学では産学連携で課題解決に取り組んでいます。その一つ「データサイエンス・デジタル変革」に対する取り組みとして、株式会社Murakumoとの協働により、県内大学・高専向けの「DX人材育成プログラム」を開発し、2024年2月からスタート。ハードからソフトの関係を理解したアプリなどのプログラム開発ができる人材の育成をめざし、本格的な内容の講座をオンラインで行います。現在、17名の本学の学生に加え、秋田大学・秋田県立大学・秋田工業高等専門学校の学生18名が参加しています。

参加者の声

留学先でプログラミング言語を学習し、とても面白くて、帰国しても学びを継続したいと思っていました。そこへ、このプログラム開始の情報があり、「これはチャンス」とすぐ参加を決めました。将来、学校の先生の働き方を変えるような「教育現場のDX化」に携わりたいと思っています。

石田 麻夏 京都府出身/2021年入学 グローバル・コネクティビティ領域



地域への思いが形になる

学生の多彩な活動

「秋田ならではの発信をしたい」「地域の人々と仲よくなって、地域文化を楽しみたい」「キャンパスや学生の魅力をもっと深く知ってもらいたい」——そんな思いを持ち、自主的にチャレンジする学生がたくさんいます。本学学生たちの積極的な行動の一部をここで紹介します。

地域と大学がつながる場「AIUマルシェ」



2023年12月、キャンパス内で第4回「AIUマルシェ」が開催されました。学生・留学生が古着やアクセサリ、母国の料理などを提供し、ステージパフォーマンスを披露、また地域の飲食店や農園がオリジナルドリンクや新鮮な農作物などを販売することを通じ、地域と本学の交流を深めるイベントです。発案者は2名の学生。「地域の方々や学生、留学生と日本人学生の距離をもっと縮めたい」と考えて、2023年の6月に第1回マルシェを開催しました。同年7月の第2回からは地域の皆さんにも出店をお願いし、出店数は倍増。その後も多数の出店者と来場者に支えられ、毎回好評のうちに開催しています。2名の学生が始めた活動は現在、大学公認の団体「AIUマルシェ」となり、その思いは後輩たちに受け継がれていきます。

秋田ならではの廃材で新規事業開発！



稲川拓実さん(2019年入学)が取り組む「キノコの廃菌床を活用した生分解可能な緩衝材の製造販売事業」が、ビジネスコンテスト「秋田県若者チャレンジ応援事業」に採択されました。秋田県出身の稲川さんは「この地でできることがあるのでは」と考えて過ごす中で、キノコと出会います。秋田県は全国有数のキノコの産地ですが、使用済み菌床が大量に廃棄される問題がありました。稲川さんは、企業人や研究者の支援を受けながら1年近く試行錯誤をした結果、発泡スチロールなど既存品と同等のクッション性を備え、環境への影響が小さい緩衝材への応用に成功。その過程で県の事業に応募し、「秋田らしさ」と「先進性」が評価されて、補助金の上限額での採択となりました。

アニメハウス

アニメを教材として楽しみながら外国語を学ぶとともに、本学に在籍する留学生との文化的な交流も深めます。

先住民学ハウス

ハワイやその他の国・地域の先住民の文化について理解を深め、各文化が持つ価値観の共有を目指します。

刑事司法ハウス

刑法に関わる問題について啓発活動を行い問題を身近に感じるとともに、他の社会問題とのつながりも考えます。

多言語学習ハウス

レクチャーやイベントを通して本学では学ばない言語にも触れ、言語学習の側面からリベラルアーツを学びます。

中嶋記念図書館

学生たちの学ぶ意欲に応え、時間の制約なく勉強に集中できる環境

Hybrid Library

応用国際教養教育を支える ハイブリッド図書館

中嶋記念図書館は、洋書を中心とした紙媒体やデジタル媒体の資料で構成されるハイブリッド図書館で、国際教養大学の応用国際教養教育を支える「知の拠点」です。とりわけ、デジタル媒体の資料のほとんどは英語の学術情報であり、国際的に高く評価されているものを収集・採用しています。これらは、海外の大学生と同等のリサーチ能力と論文執筆能力を身につけることを目的に提供されています。学生は、本学が提供するデジタル媒体の資料にいつでも、世界中のどこからでもアクセスすることが可能です。また、オンラインのディスカバリーサービスや引用文献情報検索ツールを利用することで、学修に必要な情報をすばやく的確に得られます。図書館ではこのようなデジタル資料の利用方法を紹介するワークショップや、学生からの質問に答えるレファレンスサービスもオンラインで実施し、DXの時代にふさわしい学修支援を行っています。



国際教養大学の図書館は眠ることがありません。「本のコロセウム」をテーマに「本と人との出会いの場となる劇場空間」としてデザインされたこの図書館は、24時間365日、学生たちが本と向き合い、勉学に打ち込む「知の闘技場」でもあるのです。美しい秋田杉と伝統技術を生かした傘型屋根が織りなす落ち着いた安らぎのある空間で、学生たちは、ともに学ぶ仲間の姿に刺激されながら、深夜まで勉強に励んでいます。

図書館の呼称「中嶋記念図書館」は、中嶋 嶺雄初代学長の本学創設・発展への功績を称えたものです。「24時間の開館」は、中嶋初代学長の「いつでも勉強できる場を提供したい。」という強い思いから実現しました。

開館時間

- 在学生・教職員
24時間(365日利用可能)
- 高校生カード利用者
午前6時～午後10時(365日利用可能)
- 一般利用者
平日：午前8時30分～午後10時
(1～2月は午前8時30分～午後6時)
土日・祝日・長期休暇期間：午前10時～午後6時
※年末年始期間を除く

※開館時間は変更される場合があります。
最新情報は大学ウェブサイトをご確認ください。



所蔵資料数

2024年4月1日現在

- 図書／86,446冊
(洋書：53,123冊、和書：33,323冊)
- 雑誌／219タイトル
(洋雑誌：119タイトル、和雑誌：100タイトル)
- 視聴覚資料／4,659点
- 電子書籍／約470,000タイトル
- 電子ジャーナル／約10,200タイトル
- データベース／5種類

本学の図書館は、建築家 仙田 満氏(東京工業大学名誉教授)の設計で村野藤吾賞、日本建築家協会賞、国際建築賞2010、グッドデザイン賞、他多数の賞を受賞しております。



2013年6月、国連寄託図書館に認定されました。

Open for Students 24 hours a day, 365 days a year



能動的学修センター(ALC)

Active Learning Center

能動的学修センターは、旺盛な知的好奇心を持って自発的な学修に取り組む学生を支援する拠点です。学生への個別相談・指導、教材や学修スペースの提供、学業に関するワークショップなどの開催を通じて、学ぶ意欲に応えます。学生の目的に応じた支援ができるよう、4つの施設で構成されています。

LDIC

Language Development and Intercultural Studies Center

言語異文化学修センター

言語異文化学修センターは、外国語、異文化、コミュニケーションについての自律学修を支援する施設です。英語をはじめ多数の外国語に関する豊富な教材と充実した設備を備えています。外国語会話パートナープログラムなど留学生との交流もサポートします。

充実した学修設備

施設

多目的ルーム(マルチメディア機能付きグループ学修用)

スピーキングルーム(リスニング、スピーキング、発音の練習が可能)

DVDブース

オープン学修スペース

学修ブース

リーディングラウンジ



リーディングラウンジ

スピーキングルーム

オープン学修スペース

外国語の自律学修をサポート

LDICでは、英語集中プログラム(EAP)や外国語実践科目を履修する学生をはじめ、留学など様々な目的で外国語の習得を目指す学生が利用できる教材を数多くそろえています。英語多読用教材Xreading、24か国語の会話を学べるRosetta Stone®は、オンラインでどこからでも利用することができます。

豊富な学修教材

DVD、ミステリーなどの小説、旅のガイドブック、語学検定試験対策本など、英語を主とした40以上の言語*にわたる様々な媒体の教材を取り揃えています。自分のレベルや目的に合った教材を選び学修できます。

※アラビア語、イタリア語、インドネシア語、英語、エストニア語、オランダ語、韓国語、広東語、カンボジア語、ギリシャ語、クロアチア語、スウェーデン語、スペイン語、スロバキア語、スロベニア語、スワヒリ語、タイ語、台湾語、タガログ語、タミール語、チェコ語、中国語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、日本語、ノルウェー語、ハンガリー語、ヒンディー語、フィンランド語、フランス語、ベトナム語、ヘブライ語、ポーランド語、ポルトガル語、マルタ語、マレー語、モンゴル語、ラテン語、ラトビア語、リトアニア語、ルーマニア語、ロシア語 など

LDICの開館時間については、
大学ウェブサイトでご確認ください。



IFR

Infinity Room

超域学修ルーム(インフィニティルーム)

「応用国際教養教育」を掲げる本学では、文系・理系を問わず様々な学問分野について、横断的な学修を深めていきます。とはいえ、数学をはじめとした理系科目に苦手意識を持つ学生がいるのも事実。このインフィニティルームは、学生が対面・オンラインを問わず自由に出入りし、数学を「体感」して楽しむことができる実験的なスペースです。学生の好奇心を満たしてくれる遊び心満載のこの空間は、数学を入口に、学生たちをSTEAM科目(科学、技術、工学、芸術、数学)の分野へと誘い、バランスのとれたリベラルアーツ教育を充実させます。



AAC

Academic Achievement Center

学修達成センター

学修達成センターは、チューターとなる学生が、他の学生を個別学修支援するピア(仲間)・サポートの場です。AACでは、学生の学業における能力を伸ばすだけでなく、主体的に学ぶ力を引き出すことも目的としており、不得意な分野だけでなく、得意な分野においてもさらに力を伸ばせるよう、個々の学生の目標達成に向けて丁寧にサポートします。

チューター

研修を修了した大学院生、学部生がチューターとなり個別学修支援を行います。約20名のチューターがサポートします。

集中ワークショップ

個別学修支援のほかに、ライティング、TOEFL ITP®TEST、プレゼンテーションなどの分野について、チューターがワークショップ形式で集中的にアドバイスをを行います。

個別学修支援

個別学修支援は、事前の予約により、1回60分、週2回まで受けられます。

サポート分野

- アカデミック・ライティング ○アカデミック・リーディング
- アカデミック・プレゼンテーション
- TOEFL ITP®TEST、TOEFL iBT®TEST
- IELTS™リーディング・ライティング ○日本語科目(留学生対象)
- 教養数学、代数学、微積分学、統計学 ○生物学
- AILA 2 リサーチ・アシスタント

ACSC

Academic Career Support Center

アカデミック・キャリア支援センター

アカデミック・キャリア支援センターは、大学院進学を検討・予定している学部生に対し、進学相談、ワークショップ、講演会などを通じて、分野・地域横断的に国内外の大学院および専門職大学院への進学をサポートします。

▶サポート内容、大学院合格実績および大学院進学者の声はP.64をご覧ください。

日本のモノサシでは測れない **AIU** だけの教育システム

少人数教育や留学制度の充実を語る大学は全国にありますが、
私たちが誇りたいのは、その徹底ぶりです。
統合知と人間力を兼ね備えた
グローバルリーダーを育成する――
この使命を果たすために国際教養大学は、
一般的な学士課程の枠にとらわれない
唯一無二の教育システムを練り上げています。
本学のユニークな特色は、
人材育成に対する志の高さの表れです。



国際教養大学の教育手法が2023年度の「グッドデザイン・ベスト100」を受賞。日本デザイン振興会(東京・港区)が主催するグッドデザイン賞のなかでも高い評価を受けました。

FEATURE

01

すべて 英語の 少人数授業

High Engagement,
All in English

英語で学び、自身を語り、
他者と協働する力を

英語集中プログラム(EAP)
入学直後からアカデミックな英語運用能力を
徹底的に鍛えます。

平均17人の少人数クラス
聞くだけの授業は皆無。英語で活発に
発言し討論します。

専任教員の半数以上が外国人
日本の常識を前提とせず、グローバルな
視野で学びます。

⇒P.28

FEATURE

02

1年間の 留学義務

One-Year Study Abroad Program

世界のどこで何を学び取るかは、あなた次第

世界トップレベルの203大学へ
51カ国・地域の大学で現地の学生と一緒に専門科目を履修します。

異文化の地で人間力を鍛える
集団派遣ではなく少人数で留学し、人間的にも成長を。

留学を前提としたカリキュラム
早期から留学基礎力を養い、専門分野を見極めて留学先を決定。

⇒P.46

FEATURE

03

多文化共生の キャンパスライフ

Multicultural Campus

“世界の縮図”で送る日々が、人間力を高める

キャンパス内の4人に1人が外国人留学生
世界中から留学生が集う、真のグローバルキャンパスです。

多様な学生たちとの共同生活
日本全国、世界各地から集う学生が共同生活を通して
グローバルコミュニティで生活する術を学びます。

クラブ活動や秋田ならではの地域交流
学年、国籍の垣根を越え、交流を深めます。

⇒P.52

FEATURE

04

多彩な可能性を広げる 進路選択支援

Career Support

職業に就くも学びを究めるも、ボーダーを超えて

1年次からのキャリア教育
進路を自分で切り開く力を、早期からのキャリア教育で養います。

世界で事業展開する企業へ
国際教養やコミュニケーションスキルを多様な分野で発揮できます。

国内外の大学院進学を支援
世界の名門大学院への進学を専門スタッフが支援します。

⇒P.60

FEATURE

05

多様な人材を発掘する 入試制度

Admissions

グローバル人材に育つあなたの意欲や素質を評価

入試制度は16種類
学力に加え能力や資質を評価する多様な入試を用意しています。

入学時期は4月と9月
海外大学の多くが取り入れている9月入学も選択できます。

最大6回の受験チャンス
10月の特別選抜から、2～3月の一般選抜、7月の特別選抜(9月入学)まで。

⇒P.66

すべて英語の少人数授業

High Engagement, All in English

世界共通語の英語で国際教養を学び 深く議論し、最適解を見つける力を身につける

動画で見る



すべての授業を英語で開講していることが、国際教養大学の大きな特色です。授業で扱うのは、世界に通用する教養。平均17人程度の少人数クラスで行う英語での深い議論を通して、他者の意見を聞き、自分の考えを述べる経験を多くの授業で積み重ねます。こうした学びを経て学生は、世界のどこに行き、どんな問題に直面しても、人々と対話しながら最適な答えを導き出す力を身につけます。

英語による授業科目

100%

視野を広げ、世界を舞台に活躍するために、英語で理解し、考え、意見を主張できる能力を鍛えます。

実践の場を通して学ぶ

国際教養教育

多種多様な手法による授業が展開されています。発言が頻繁に求められる環境で、学際的な学びと思考の訓練を積んでいます。

先端的研究を進める

教授陣

全教員の半数以上が外国人です。人文・社会・自然科学の各領域で高度な研究実績を挙げる教員がそろっています。

国際教養学部 国際教養学科

現代を知り未来を展望する3領域 | 選んだ領域に軸足を置いて多分野を学ぶ

学びの切り口(分野):7つのクラスター

GB

グローバル・ビジネス領域

国内外のビジネス分野での活躍を目指す学生のために、会計・ビジネス文化・経済・金融・法律・経営・マーケティング・定量分析といった、ビジネスと経済学に関する科目群を開講します。ビジネスの意思決定に関連する幅広い理解を身につけます。

B

ビジネス

E

経済学

GS

グローバル・スタディズ領域

今日の世界は、深刻な経済格差や社会の分断、国際秩序を脅かす紛争、喫緊の課題である環境問題など、さまざまな困難に直面しています。本領域では、混迷を深め続ける世界を生き抜くための知識と思考力、分析力を、3つのクラスターで養います。

G

グローバル社会

P

政治学と国際関係論

S

サステナビリティ

GC

グローバル・コネクティビティ領域

文化・文学・哲学といった、生きることの意味や価値を探究する人文科学と、現代社会において急速に進化しているデジタルテクノロジーを学びます。両分野の「つながり(connectivity)」を意識しながら学ぶことにより、変化する社会に柔軟に適應する力を育てます。

H

人、文化とコミュニケーション

T

科学技術と社会創造

領域を横断した学びで統合知を鍛える

様々な要因が絡み合った複雑な課題を解決するには、学問の境界を越えて、多角的な視野で思考し、複数の知識体系を統合する力が必要になります。こうした力を身につけられるように、自由度の高い科目選択と領域が横断している科目を用意しています。

領域を越えた科目の選択

自分が選択した領域にはない、他の領域の科目を選択することができます。例えば、グローバル・スタディズ領域に所属していても、ビジネスの基礎を身につけたいと思えば、グローバル・ビジネス領域の「グローバル・マーケティング」の科目を履修するなど自分がめざす将来像や興味に応じて、知識体系を蓄積することができます。

領域とクラスターを横断した科目の設定「クロスリスト科目」

取り扱うテーマ自体が領域やクラスターを横断している科目が多く設定されています。

▶ 例えば「エコビジネスとサステナビリティ」**B S**

この科目は、**B**(ビジネス)と**S**(サステナビリティ)の2つのクラスターにまたがっています。哲学・経済学・政治学・科学など複数の学問分野の考え方を組み合わせ、ビジネスが地球の未来とどのように関わっているかを「グローバル・ビジネス領域」の学生と「グローバル・スタディズ領域」の学生と一緒に考察していきます。

国際教養学科の科目一覧 ▶P40-41

すべての科目が世界基準

世界の大学では、各国の大学で科目の互換性を持たせるため「科目コード」が設定されています。学びの分野とレベルを表したもので、国際教養大学のすべての科目に設定されています。本学で学ぶ科目は、海外大学と同等のレベルで互換性があることを示しています。

レベル別クラスで集中的に 学術的な英語運用能力を養う

本学では、学位取得のための授業をすべて英語で行っています。英語で行われる講義を理解し、教員や学生と議論をしたり論文作成したりするためには、アカデミックな英語の運用能力が欠かせません。入学後に行う英語集中プログラム(EAP)では、各学生のレベルに合わせた教授法で、本学や留学先大学の学びに必要な学術的な英語や学修のスキルを養います。

EAPプログラムにおける2つの目標

大学のリベラルアーツ科目の履修に必要な学術英語の運用能力を身につける。

多文化が共生する環境を最大に生かして、グローバルな視点を身につける。

レベルアップ チャート



クラスレベル	EAPⅠ (9単位) 原則:TOEFL ITP® TEST 479点以下	EAPⅡ (9単位) 原則:TOEFL ITP® TEST 480点~499点	EAPⅢ (9単位) 原則:TOEFL ITP® TEST 500点以上
Reading	<ul style="list-style-type: none"> 内容理解力を高める 読むスピードを上げる 頻出度の高い語彙を使う能力を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> 最頻出英単語2,000語をマスターする 内容の要点や話の筋を見極める 読み物に対する自分の意見や感情を説明する 	<ul style="list-style-type: none"> 大学レベルの課題に取り組むために必要な語彙力を身につける 批評的リーディング技術を磨く
Writing	<ul style="list-style-type: none"> 基本的なライティング技術を学ぶ 単文の文法を復習する パラグラフを書く練習をする 	<ul style="list-style-type: none"> 様々なライティングスキル・思考スキルを磨く パラグラフから全体の流れを意識したライティングへ移行する 論理的かつ読みやすい文章を書く 	<ul style="list-style-type: none"> 学術的なエッセイ、長文のライティングに取り組む 自己校正の練習やクラスでの意見交換をする 適切なスタイル・書き方を選択する
Listening & Speaking	<ul style="list-style-type: none"> 公的場面と日常生活でのコミュニケーションスキルを高める 	<ul style="list-style-type: none"> より学術的な内容でのコミュニケーションスキルを高める 	<ul style="list-style-type: none"> プレゼンテーションやデモンストレーションを行う 批判的思考に基づいたディスカッションを行う
Computer Basics 大学の授業に必要なコンピュータを使う能力を育成する		TOEFL® TEST Preparation 受験の準備をサポートし、テストに含まれる全スキルを向上させる	

自らの目標に向かって努力する

自主言語学修

授業の補足として、ディスカッション資料の準備や週3時間以上の英文多読など自主的な言語学修を行います。言語異文化学修センター(LDIC)で学修をサポートし、学生が自律的・能動的に言語学修を継続する力を高めます。(P.24)

Message from the Head



国際色豊かな学びの環境で 最大限の能力を発揮する

EAPは単に英語力を養うプログラムではありません。人文科学・自然科学・社会科学などの学問分野や最新のニュースを題材に、大学で必要となる学術的な英語を実践的に学びます。英語で講義を聞きノートをとる、討論する、レポートを作成するといった学びの技法を修得し、国際色豊かな学生コミュニティの一員として優れた能力を発揮する術を身につけます。

マルコム・シム

英語集中プログラム・外国語教育代表 准教授

Dr. Malcolm SIM

Student Voice

本学を志望した理由とEAPの魅力

英語で多様な学問を学べること、基礎科目を学んだ後に専門分野を選べるカリキュラムに魅力を感じました。秋田という新しい場所でも、親元を離れて生活してみたいと思ったのも理由の一つです。入学当初はすべてが英語という環境に慣れるのが大変で、自分より英語ができる同級生の姿に落ち込むこともありましたが、仲間と協力して作り上げる中で少しずつ力がつきました。そしてクラスメイトとの議論を通してさまざまな考え方を知ったことが、今の学びに生きています。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

AIUで日常的に英語に触れる中で、英語に対する姿勢がポジティブになり、人前で英語を話すことや留学生との交流に抵抗がなくなりました。また「AIUの魅力は人との交流にある」と言えるほど、AIUではたくさんの素敵な人たちに会えます。個性あふれる人々から多くのことを吸収して、人として成長できる場です。受験勉強は大変だと思いますが、AIUの大学案内やSNSを通じて将来の輝いている自分を想像して、頑張ってください！

千葉 奏太

神奈川県／2023年入学

Sota CHIBA

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00	EAP アカデミック・リスニングとスピーキング	Computer Basics	EAP アカデミック・リスニングとスピーキング		ダンス部		
10:00		課題					
11:00	昼食		昼食	自動車学校	昼食		自動車学校
12:00	昼寝	昼食	昼寝			クラス会	
13:00	オリエンテーション		ダンス部		TOEFL Preparation		
14:00		昼寝		昼食			昼食
15:00	EAP アカデミックライティング	EAP アカデミックリーディング	EAP アカデミックライティング	EAP アカデミックリーディング	課題		ダンス部
16:00	課題		課題			夕食	
17:00	夕食	夕食	夕食		夕食		夕食
18:00			ダンス部	自動車学校			
19:00	ダンス部	吹奏楽団	教職概論		教職概論	吹奏楽団	
20:00				夕食			課題
21:00	竿燈会	課題	竿燈会	課題	竿燈会		

高い英語力を有する学生を対象とした大学教育への導入プログラム

EAPブリッジプログラム(3単位) ※条件: ●TOEFL ITP® TEST 550点以上 ●英語圏の国で生活した経験がある、または長期間英語で教育を受けたことがある など

高いレベルの英語力を有し、英語圏の国で生活した経験があるなど一定の条件*を満たした新入生は、EAPⅠ～Ⅲの履修が免除されます。代わりに「EAPブリッジプログラム」でリベラルアーツ教育に関する理解を深め、大学レベルの授業に必要な学修スキルを修得します。他に基礎科目群の中から次の3科目を履修します。

アカデミック・リーディング (3単位)

大学の授業で使われるさまざまな分野の文献を読みこなすための読解力、スピードを身につける。

コンピュータ・リテラシー (3単位)

現代社会で必要なコンピューターとデジタル・リテラシーの基礎を学び、運用能力を修得する。

英作文Ⅰ (3単位)

1,500～2,000語の小論文作成に取り組むなど、大学の授業に必要なライティングのスキルを磨く。

多面的にビジネスを学び、 未来の課題解決に挑む

グローバル化の進展により、企業活動は複雑化の度合いを増しています。不確実性の高い現代において、企業が社会に有用な財・サービスを持続的に提供していくためには、地域、ときには世界的規模でニーズを的確に把握し、戦略を策定しなければいけません。本領域ではこれに対応すべく、「経済学」および「ビジネス」を中心に科目群を開講。国際的かつ学際的な視野に立ち、教員と学生による対話型の授業を展開します。教授陣は優れた教育者であるとともに第一線の研究者であり、ビジネスの経験・実績が豊富な人材も揃っています。斬新な発想で課題を解決する創造力や批判的な思考力を養い、国際的な舞台で活躍するためのキャリアの基盤を築きます。

AILA4：総合セミナー
(P17参照)
リサーチペーパーテーマ例

- ゲリラ・マーケティングが購買意欲に与える影響
- 文化的異質性が多国籍企業の現金保有に及ぼす影響
- 女性の雇用および結婚行動
- 外資小売業の日本市場進出に関する分析

GB領域の2つのクラスター

ビジネス クラスター

ビジネスで必須の学問である会計学、資金調達・運用を学ぶファイナンス、顧客のニーズを的確に把握するマーケティング、経営の戦略や組織の問題を扱うマネジメントを学修します。課題解決のための議論を活発に行い、批判的思考やコミュニケーションを徹底的に訓練します。

経済学 クラスター

文系・理系を超えた科目群で構成しています。ミクロ・マクロ経済学や統計学の基礎と並行して、リアルデータの分析や政策評価のケーススタディを行い応用力を身につけます。国際経済や環境、開発経済などの専門的な科目では、学んだ知識と最新の研究による知見を融合します。

- ヘドニック法による文化財の価値評価
- 都道府県・地域別各種犯罪指標の決定要因
- 少子化、人口減少の決定要因
- タムスプレッドと経済変動との関係

Message from the Director



多様性に満ちたAIUの環境が 国際競争力のある人材を育む

本領域で提供する学びは、ビジネス分野で必要な知識やスキルの習得だけではありません。キャリアの長期的な構築に不可欠な力、つまりコミュニケーションスキルや批判的・創造的な思考力、課題解決に向けた学際的アプローチ、ビジネスの意志決定における文化的・歴史的文脈の理解力を養います。本学の特色であるリベラルアーツ教育、そして多様な考えや経験を持つ人々が学び合う学修環境が、世界が抱える課題の解決に資する国際競争力のある人材を育成します。

クリントン・ワトキンス
グローバル・ビジネス領域長
教授

Dr. Clinton WATKINS



Student Voice

GB領域を選んだ理由と面白さ

英語で専門科目を学ぶ教育環境と、海外のトップクラスの大学に留学ができる点に魅力を感じてAIUに入学しました。GB領域を選んだのは、高校時代に経営学と経済学に関心を持ったからです。授業で学ぶビジネスの専門用語や概念は、覚えるだけでなく誰にでも説明できるレベルまで理解しなくてはなりません。難解で苦心することもあります。友人と互いに概念を説明し合うことが理解の助けになっています。面白いと感じる瞬間は、データを考察してその意味を理解した時です。授業では複雑で膨大なデータを扱うこともあります。一見捉えどころのないデータでも、数字に込められた物語に気づき、その意味を発掘できると大きな喜びを感じます。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

“Life is like a box of chocolates. You never know what you’re gonna get.”人生何があるか本当にわかりません。私もAIUの存在を知ることがなければ、全く違う人生を歩んでいたと思います。高校時代は学びの根本的な意味を考えずに嫌々勉強していました。しかしAIUでそれぞれの学問がどのように繋がって発展するのかを知り、学ぶことの意味や重要性を実感しました。AIUでは自分の考え方や世界の見え方が大きく変わります。その変化を柔軟に受け入れ、楽しんでください！

ラーマン アリアン

岩手県／2020年入学

Arian RAHMAN

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00		睡眠			睡眠	睡眠	睡眠
10:00							
11:00	社会学	持続可能な未来	経済データ分析	持続可能な未来	自由時間	秋田県内 プチ弾丸旅行	
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食		
13:00	課題	英作文Ⅱと 図書館調査手法序論	自由時間	英作文Ⅱと 図書館調査手法序論	クラブ		
14:00		自由時間		自由時間			自由時間
15:00							
16:00	金融理論と応用	経済学原理マクロ	金融理論と応用	都市地理学	課題		
17:00	代数学	夕食	代数学				
18:00	夕食	アルバイト	夕食	夕食	夕食		
19:00							
20:00	クラブ		アルバイト	課題	自由時間	課題	予習

科目ピックアップ

〔国際財務管理〕

グローバル展開する企業が円滑に経営を続けていくためには、国際金融市場の動きを正しく理解し、その流れに沿った資金調達や資産運用を行うことが求められます。この科目では、為替先渡取引やオプション契約、借入金金融など多国籍企業が財務リスクを回避するのに役立つ様々な概念・理論を学び、その運用手法の修得を目指します。

〔グローバル・マーケティング〕

ダイナミックに変化し続けるグローバル市場の中で、効果的に顧客へ価値を提供するためには、マーケティング戦略に関わる概念や理論だけではなく、文化的、歴史的、経済的、法的、論理的、そして社会的な問題を認識することも必要となります。この科目ではグローバル市場を様々な角度から調査・分析・評価する手法を学びます。

〔環境経済学〕

環境汚染や気候変動に対する規制や政策を実施する際、便益（ベネフィット）と費用（コスト）が発生し、双方のバランスを考慮する必要があります。環境経済学の講義では、こうしたトレードオフの関係を適切に理解し、環境税や排出権取引などの実際の環境政策について、便益費用分析のフレームワークに則った評価手法を学びます。

グローバル化する世界を 創造的な思考で生き抜く

グローバル化する世界を生き抜くために必要なのは、世界の国や地域の歴史、文化、社会、政治、経済をはじめ、国家間・地域間の関係、国際機関・国際組織の機能と役割、地球規模の現象などに関する広範な知識です。そして世界に広く貢献する人材となるためには、それらの知識に裏打ちされた、論理的かつ創造的な思考力・発想力が大きな強みとなります。本領域では、「グローバル社会」「政治学と国際関係論」「サステナビリティ」の3つのクラスターを中心に、学生の興味や関心に応じて知識の蓄積と深化に努めます。さらに積極的な学修活動への参加を通して、従来の発想や価値観にとらわれない柔軟な考察・分析力を磨きます。

AILA4：総合セミナー
(P17参照)
リサーチペーパーテーマ例

● 秋田の地域振興とインバウンド観光

● 中国の台頭と日米安保体制

● メディアにおける表現規制と表現の自由

● 日本における韓国大衆文化の受容

● 国際環境政策における政府機関と非政府機関の視点

● 持続可能な都市におけるレジリエンス

Message from the Director



地球を生きる一員として 人類社会に広く貢献する

冷戦終結から30有余年、世界各地において政治や経済は大きく変動し、高度情報化による人・モノの往来は世界規模で拡大しました。その一方で、紛争や環境破壊、パンデミック、反グローバリズムの台頭などの課題が、人類社会を大きく揺るがしています。この混沌とした世界で我々に求められるのは、社会や国家、さらに地球社会の一員である自覚をもって思考し行動する力です。本領域は学際的知見に裏打ちされた思考力で、人類社会に広く貢献する人材の育成を目指します。

水野 智仁

グローバル・スタディズ領域長
教授

Dr. Norihito MIZUNO

GS領域の3つのクラスター

グローバル社会 クラスター

貧困や格差、人の移動、差別や人権をめぐる諸問題、宗教やイデオロギー、文化に起因する摩擦など、人類は多種多様な問題に直面しています。地域社会から国・地域、さらには地球規模の問題まで幅広く網羅し学修します。

政治学と国際関係論 クラスター

政治学、地理学、歴史学、国際関係論など複数の分野にまたがり、東アジア・東南アジア・北米・欧州等の法律や政治制度、国際機関とその役割、日米関係や日中関係等を含む国際関係、安全保障問題等を学修します。

サステナビリティ クラスター

世界が経済発展を遂げる一方で環境や資源の問題が深刻化する今、人類に具体的な行動が求められています。持続可能な環境、経済、社会の構築という重大課題と人類社会の目指すべき姿を多角的に学修します。

Student Voice

GS領域を選んだ理由と面白さ

高校時代はさまざまな学問に興味があり、進路選択の方向性を決めかねていました。AIUはリベラルアーツに基づいたカリキュラムで、幅広く学びつつ関心分野をより深く学べる点に魅力を感じて入学を決めました。GS領域を選択した理由は、環境の視点からサステナビリティを学ぶ「持続可能な未来」という授業をきっかけに、環境に関わる学問に興味を持ったからです。特定の国や地域をテーマに深く掘り下げる授業や、広範なテーマについてグローバルな視点で扱う授業など、新たな物事の捉え方を学べる点にGS領域の面白さを感じます。ブルネイ留学では環境学や地理学に関する授業を多く履修し、領域に沿った学びを得ることができました。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

高校生のときに初めてAIUの図書館に足を踏み入れ、静謐な雰囲気と真剣な表情で学ぶ学生の姿に圧倒されながらも、「ここで勉強できたら」と憧れの気持ちを抱いたことを覚えています。そして自分がAIU生となった今でも、図書館に来ると「よし、やるぞ!」と背筋が伸びる気がします。大学生活は忙しく大変なこともあります。が、初心やワクワクする気持ちを忘れないことが大切です。その気持ちが支えとなり、苦しい時でも、もうひと踏ん張りできると思います。

阿部 真千

愛媛県／2020年入学

Mayuki ABE

科目ピックアップ

〔国際強制移動学〕

世界では、迫害や紛争・自然災害などで、やむを得ず移住を余儀なくされる人々が増えています。本科目は、移住を迫られる人々の視点から考えることを重視し、その課題と論点を様々な角度から学びます。「国内避難民」や「ジェンダーと強制移動」など具体的な課題の検討では、映像も多く取り入れ、学生のディスカッションも重視しています。

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00	自主学習	英作文Ⅱと図書館調査手法序論	自主学習	英作文Ⅱと図書館調査手法序論			
10:00							
11:00	コンピュータ・リテラシー	フランス語Ⅲ	コンピュータ・リテラシー	フランス語Ⅲ	アルバイト	自主学習・課題	自主学習・課題
12:00	昼食	昼食	昼食	昼食			
13:00					昼食		
14:00	教養数学		教養数学			自主学習・課題	
15:00							
16:00		持続可能な未来		持続可能な未来			
17:00	課題		課題		人間の安全保障		
18:00		課題		課題		余暇	
19:00	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食	夕食
20:00							
	自主学習・課題	自主学習・課題	自主学習・課題	自主学習・課題			余暇

〔サステナビリティ思考概論〕

サステナビリティの実現には、現在の課題を解決する新しい社会システムの開発、持続的な開発のしくみ、持続的に人材を育成する教育が必要です。この科目では、サステナビリティの歴史・概念・教育などを学ぶとともに、複雑な課題を理解するシステム思考を学び、課題解決に向けた対策をグループで考えプレゼンテーションを行います。

〔グローバル化時代における社会的課題〕

急速なグローバル化の進展に伴い、世界の多くの人々が、貧困、不平等、食料不足、環境悪化といった社会問題に直面しています。また、これらの問題は相互に関連する性質を持ち、複雑です。この科目では、こうした問題の複雑性を探究し理解し、問題の原因や解決策をディスカッションやグループワークを通して導き出す方法を身につけます。

人文科学とテクノロジーの「つながり」が生む新たな社会

創造と文化を生み出してきた人類の進歩の「源」となったのが、言語とコミュニケーションです。情報が瞬時に拡散するグローバル社会で、デジタルテクノロジーは人類をどのように変えていくのでしょうか。そして豊かな人生を生きるために、私たちはどうすればよいのでしょうか。本領域では文化や文学、哲学といった、生きることの意味や価値を探究する人文科学と、急速な進化を続けるデジタルテクノロジーの両分野を学びます。この2分野の「つながり（connectivity）」を認識し探究する中で、批判的思考や異なる分野の知識を学際的に統合して、これからの社会を創造していく力を養います。

AILA4：総合セミナー
(P17参照)
リサーチペーパーテーマ例

● 心と機械

AI技術の発達が生々しく、ヒトの心と意識

● AI構築

ディープラーニングを使用した抽象的ゲームの簡易AIエンジン開発

● 顔認証技術とマイノリティ

AIと、社会に潜在する偏見についての考察

● 言語の未来

自動翻訳技術の進歩が言語学習に与える影響

● 科学と芸術

折り紙の工学的応用を題材とした科学と芸術の創造的な相互作用

● デジタル時代の学び

学習と遊びの理論の実践、検証及び発展を目的としたデジタル及び非デジタルメディアの設計

GC領域の2つのクラスター

人、文化とコミュニケーション クラスター

人文科学分野の科目で構成される本クラスターは、歴史、文化、芸術をはじめ、広範囲にわたる知識と分析力、ならびに言語やコミュニケーション力の獲得を目指します。日本および世界の文化的、学術的知識を広げ、グローバル社会の背景と異文化への理解を深めます。

科学技術と社会創造 クラスター

働き方やコミュニケーション、情報アクセスや情報処理をはじめとする現代生活におけるデジタルテクノロジーを題材に、科学技術の影響によって生じる社会的、経済的、哲学的な問題を考察します。デジタル環境を活用し、より豊かな未来社会を創造する方法を探究します。

Message from the Director



「文系」「理系」の壁を越え、 変化する社会に生きる術を

これからの教育には「文系」「理系」の壁を越えた学びが必要だと考えています。技術革新のスピードを見れば、テクノロジーが未来社会に大きな影響を与えることは間違いありません。学際的に学ぶこと、デジタル技術を駆使すること、己を知り文化や人間を理解すること。そうしたことが変化する社会に適応し柔軟に生きる術となります。テクノロジーの理解は未来を開く鍵となり、人文科学の学びは人生を豊かにする一助となるでしょう。

フローラン・ドメナック

グローバル・コネクティビティ領域長
ICTコーディネーター 教授

Dr. Florent DOMENACH

時間割・タイムスケジュール

	月	火	水	木	金	土	日
9:00		英作文Ⅱと図書館調査手法序論		英作文Ⅱと図書館調査手法序論	朝食	朝食	アルバイト
10:00	朝食		朝食				
11:00	自主学習・課題	文化人類学	自主学習・課題	文化人類学	自主学習・課題	自由時間	
12:00							
13:00	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食	アルバイト
14:00	予習・復習		予習・復習				
15:00					お出かけ	自主学習・課題	
16:00	サイバー心理学	心理学Ⅱ：心理学的差異	サイバー心理学	心理学Ⅱ：心理学的差異			
17:00							自主学習・課題
18:00	中国語Ⅰ	中国語Ⅰ	夕食	夕食	夕食	夕食	
19:00	夕食						
20:00	アカベラ部	夕食	アカベラ部	アルバイト	自主学習・課題	アルバイト	

科目ピックアップ

〔人工知能と人類〕

ゲームから自動運転、癌の診断から犯罪者の判決まで、AIは日常生活や社会で重要な役割を担いつつあります。この科目では、AIの情勢と進化、そしてAIがもたらす影響を探ります。「知性とは何か」といった哲学的な文献を読み、考え、議論することから始め、AIテクノロジーを検証。当分野の進歩に対する最新アプローチや課題について学びます。

〔コミュニケーションと演劇〕

コミュニケーションには言語要素と非言語要素が必要です。この科目では、体験的学習法を用いて環境、社会、文化、言語、デジタルの視点からグローバルなテーマを取り扱います。演劇を体験することでグローバル市民について学ぶとともに、創造的なタスクに協力して取り組むことで、効果的なコミュニケーションができる人材育成を目指します。

〔デジタル時代の重要課題〕

インターネットの普及は、これまでの「コミュニケーションとは何か」という定義を変化させました。この科目では、さらに進むデジタル化が人間の価値観や思考などに与える影響について、ディスカッションを中心に探究していきます。「デジタル機器を使わない1日」をきっかけに、自分の思考や感情を観察してデジタル化の影響を考察する機会もあります。

Student Voice

GC領域を選んだ理由と面白さ

テクノロジーが台頭するこれからの社会で、人文科学がどのように変化し受容されていくのかを学びたいと考えGC領域を選びました。印象に残っているのはデジタルテクノロジーと心理的プロセスの関係性について探る「サイバー心理学」の授業です。オンライン協働学習を取り入れ、海外の学生と「テクノロジーと死生観」について話し合い、興味深いトピックに関する文化的な違いを探究できたことがとても面白かったです。GC領域は文系理系という明確な壁がなく、数学に苦手意識のある私には難しいと感じる授業もありましたが、英語のレクチャーだからこそ記号や数式の意図を体系的に理解することができ、以前よりも数学の楽しさを実感するようになりました。

AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

好きこそものの上手なれと言いますが、「好きなことに挑戦してみたい」という気持ちが皆さんの学びを最大化してくれます。私は特別科目等履修生として入学し、当初はうまくやっていたか不安でした。しかし仲間のサポートを受けつつ「大変なことでも楽しむ」ことを重視した結果、困難を乗り越えました。AIUは意欲的な学生が多く、私もその姿に後押しされて積極性が身につきました。この大学が皆さんの挑戦の場となることを心から願っています。

國分 陽菜

秋田県／2022年入学

Hina KOKUBUN

01 教職課程

Teacher's License Program

高等学校教諭一種免許状(英語)を取得するためのプログラム

次世代の英語教育をリードする教員を養成

学校教育で外国語によるコミュニケーション能力の育成が必要とされる今、高度で実践的な英語力と指導力を持つ英語教員が求められています。本学の教職課程では、高等学校教諭一種免許状(英語)の取得が可能です。教育者としての専門性を備え、本学の学びや留学経験で身につけた高度な英語力と幅広い知識、国際感覚を活かして次世代の英語教育をリードする教員を養成します。

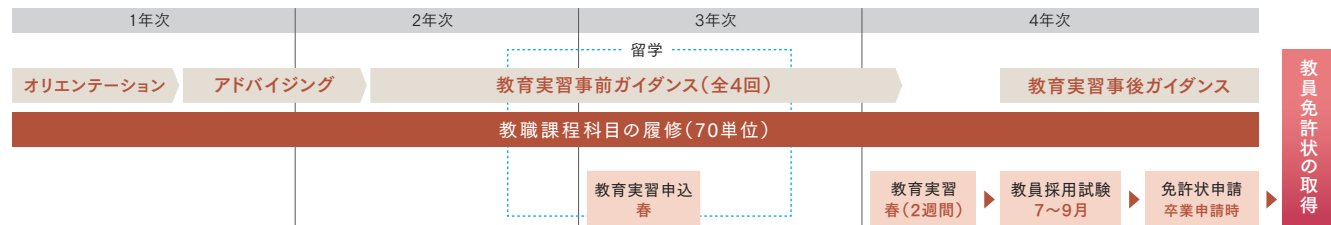
特色1 少人数教育で実践的に学ぶ

グループでのディスカッションやプレゼンテーションなど少人数教育の特色を生かした授業で、学校や子どもたちを取り巻く事象や課題を理論と実践の両面から学びます。教育の現場で役立つ実践的なカリキュラムです。

特色2 教職課程の履修をサポート

教員免許の取得は、言語学修や留学で多忙な本学の学生にとって大きなチャレンジです。「履修カルテ」や「教育実習ガイダンス」などの履修指導と専任教員による個別アドバイスで学生を手厚くサポートします。

教職課程の流れ ※ 図は4年卒業の学生のケースの目安です。※教職課程科目の一部(23単位程度)は卒業単位には含まれません。※ 留学中(4年卒業の場合は2年次冬から3年次秋)は教職課程科目の履修はできません。



Message from the Head

AIUで身につけた力を教育に活かす

大学の学びを糧にさらなる可能性を求めて世界に飛び出すAIUの学生は、英語運用能力や課題解決能力においても、日本の英語教育界をリードする人材となることは間違いありません。人に寄り添い、正しく教え導き育てていくためには、まずは自分が成長することが大切です。切磋琢磨しながら、理想とする教育者への道をともに歩みましょう。

松田 聡

教職課程代表 教授

Prof. Satoshi MATSUDA



Student Voice

■ 教職課程の学びについて

グループディスカッションで教育現場の課題を考える機会が多く、教員の視点から教育を学びました。また日本の英語教育だけでなく英語教育の歴史全般を学んだり、英語の指導法を実践的に学んだことも興味深かったです。留学先のフィンランドでは、教職課程で得た知識を活かして日本の教育制度と比較することができました。

■ AIUを目指す皆さんに伝えたいこと

授業でのディスカッションを通してさまざまなバックグラウンドを持つ学生と意見交換し、視野が広がりました。また授業で印象に残ったことを留学生に話し、海外の教育制度や学校の様子について知ることができたのも、国際色豊かなAIUならではの体験でした。教員志望の学生をはじめ、多くの人に学びがある課程です。

岩田 実樹 東京都／2020年入学

Miki IWATA

世界各地からの留学生とともに日本の理解を深める

日本研究プログラム Japan Studies Program

国際教養大学では、世界各地から約200名の留学生が学んでいます。留学生は日本の生活や文化に強い関心を持ち、積極的に学内外の活動に参加しています。日本研究プログラムでは、留学生とともに「日本」をさまざまな視点から英語で学びます。政治経済や伝統文化、アニメなど幅広い分野を留学生と意見を交わしながら学ぶことで、多角的な視点で日本への理解を深めます。

特色1 「日本」を英語で学ぶ

日本研究が専門の教授陣が、多様な解釈や視点から英語で授業を展開します。他国の人々とのコミュニケーションを通じて自国に対する理解を深め、日本文化などを発信する力を養います。

特色2 幅広い分野を学ぶ

日本の伝統文化から歴史、政治経済、地域研究、映画、アニメなど多様な科目が開講されています。また教室での講義だけではなく、フィールド・トリップなど体験型授業も交えて学びます。

特色3 留学生とともに学ぶ

世界各地からの留学生と日本をテーマにさまざまな議論を繰り広げられるのは、本学ならではの学びです。多様な価値観を理解し、文化を超えた友情とネットワークを築きます。

科目名	<ul style="list-style-type: none"> ● 日本伝統文化Ⅰ：茶道 ● 日本伝統文化Ⅱ：華道、歌舞伎、能と日本舞踊 ● 日本社会概論 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現代日本の視覚文化：アニメ ● 秋田学Ⅰ：秋田学入門 ● 異文化理解の視点から見る日本の社会と文化
-----	---	---

日本語プログラム Japanese Language Program

留学生や日本語を母語としない正規学生を対象とした日本語学修のプログラムです。日本語能力に応じて初級から上級まで11のレベルに分かれ、少人数クラスで学びます。地域の学校との交流や秋田を探访するフィールド・トリップなども含め、生きた日本語と日本文化を学べるカリキュラムです。様々なバックグラウンドを持つ正規学生と日本語で交流し、円滑な日本語コミュニケーション力を養います。

日本語教育副専攻

※当副専攻は新認定日本語教育機関の教員資格である「登録日本語教員」の基礎試験免除要件には該当しません。

日本語を母語としない人に日本語を教えるための方法を学びます。日本語の特質を知り、言語や文化に対する視野を広げます。また日本語会話パートナーとして留学生の言語学修をサポートするなど、留学生が多い本学の環境を活かした実践的な学びもあります。日本語教育に関心がある学生や、日本語教師を目指す学生は「日本語教授法」「日本語学概論」などの所定の科目を履修することで「日本語教育副専攻」を修めることができます。

次の条件を満たすことにより、副専攻の取得が可能です。

- 副専攻・必修科目 15単位以上
- 副専攻・選択科目 12単位以上
- 履修科目のGPA(成績評価平均点)3.00以上

Message from the Head

日本語を通した異文化交流の場に

異文化交流を期待してAIUに入学する学生は多いと思います。留学生も日本の文化や生活に強い関心を持っています。日本語プログラムでは正規学生が留学生と日本語で交流する機会を多く設けています。日本語を母語とする学生にとっては、日本語や日本文化を多角的に考える貴重な体験となるでしょう。

阿部 祐子

日本語プログラム代表 教授

Dr. Yuko ABE



科目一覧

開講科目は変更される場合があります。
最新の科目情報はこちらから確認いただけます。



基礎科目群

Foundation Courses

30単位以上

AIUで学ぶための
基礎を固めます。

必修科目

オリエンテーション
英作文Ⅰ
アカデミック・リーディング
英作文Ⅱと図書館調査手法序論
グローバル研究概論
留学セミナー
キャリア・デザイン
体育実技Ⅰ～Ⅴのいずれか
保健体育講義

選択必修科目

コンピュータ・リテラシー
プログラミング基礎

選択科目

英語発音矯正
社会探求活動
長期社会探求活動Ⅰ～Ⅱ
デザイン思考探求
デザイン思考実践



「統計学」「コンピュータ・リテラシー」「人工知能と人類」の科目で構成された、BUILD*プログラムが、文部科学省が審査・認定する「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」(通称「MDASH」)のリテラシーレベルに認定されました。

※BUILD: Building Information Literacy for a Digital Society / デジタル社会のための情報リテラシー教育

クラスターの凡例

- B** ビジネスクラスター
- E** 経済学クラスター
- G** グローバル社会クラスター
- P** 政治学と国際関係論クラスター
- S** サステナビリティクラスター
- H** 人、文化とコミュニケーションクラスター
- T** 科学技術と社会創造クラスター

各クラスターの詳細は
P.32～37をご覧ください。

教養基盤科目群

Core Liberal Arts Courses (CLA)

31単位以上

幅広い知識とスキルを身につけ
教養専門科目群に進む基盤を築きます。

外国語 6単位以上

中国語Ⅰ・Ⅱ	韓国語Ⅰ実践・Ⅱ実践
中国語Ⅰ実践・Ⅱ実践	ロシア語Ⅰ・Ⅱ
フランス語Ⅰ・Ⅱ	ロシア語Ⅰ実践・Ⅱ実践
フランス語Ⅰ実践・Ⅱ実践	スペイン語Ⅰ・Ⅱ
韓国語Ⅰ・Ⅱ	スペイン語Ⅰ実践・Ⅱ実践

社会科学 6単位以上

文化人類学	G S H	報道メディアと文化とイデオロギー	H
リーダーシップ論		経済学原理ミクロ	B E S
教育制度論	G	国際財務管理	B E
環境科学	S	北アメリカの地理	B E
人文地理学	G S	東アジアの地理	G
自然地理学	G S	ジェンダー学概論	G
世界史Ⅰ	P H	国際関係論	P
世界史Ⅱ	P S H	政治思想概論	P
政治学	P	国際法と国際機構	P S
心理学Ⅰ	H	国際協力・開発論Ⅰ	P S
心理学Ⅱ	H	地域発展論	G S
社会学	G	メディア・リテラシー	G H
先史考古学と日本人エスニシティ論	H	サステナビリティ思考概論	S

人文社会 6単位以上

美術史	H	東洋思想文化	H
美術実技Ⅰ ガラス細工	H	異文化間コミュニケーション	H
スピーチ・コミュニケーションの基礎	H	応用言語学	H
グローバルイシュー分析と討議	H	世界の英語文学	H
英語文学	H	クリエイティブ・ライティング	H
叙事詩から始まる文学	H	国際ニュースのディベート	P H
英語学概論	H	国際ニュースの実践的聴取	P H
英語教育教材としての民衆文化	H	科学史と科学哲学	H T
プロフェッショナル・ライティング	H	修辞学	H
ビジネス現場のデジタル・コミュニケーション	H T	クラシック音楽の聴き方	H
ニュースの英語	H	初級ヴァイオリン実技Ⅰ～Ⅱ	H
コミュニケーションと演劇	H T	生きるための音楽	H
言語学	H	マクロ「音楽」学	H
社会言語学	H	理論哲学	H
批判的思考とディベート	H	実践哲学	H
西洋思想文化	H T		

日本研究 6単位以上

日本伝統文化Ⅰ	H	日本のビジネス文化	B
日本伝統文化Ⅱ	H	日本の文学Ⅱ	H
世界の中の日本	H	日本における宗教	H
日本の文学Ⅰ	H	異文化理解の視点から見る	H
日本史Ⅰ	P	日本の社会と文化	
日本史Ⅱ	P	日本の外交政策	P
日本の政治	P	日本言語学	H
日本国憲法と法	P	グローバル化する日本の重要課題	H
日本社会概論	G	近代日本社会文化史	H
日本映画Ⅰ	H	現代日本の視覚文化	H
秋田学Ⅰ	S	日本映画Ⅱ	H
人間のあり方と自己：	G H	日本映画Ⅲ	H
文化人類学の視点から		秋田学Ⅱ	S
世界の中の日本美術	H	日米関係論	P
日本金融と実践	B	日中関係論	P

自然科学 4単位以上

化学入門	物理学入門	生物学入門 S	バイオテクノロジー演習
化学実験	物理実験	生物実験 S	

数学 3単位以上

教養数学 T	統計学 B E T	微積分学 B E T
代数学 B E	デジタル世界の数学 T	線形代数学 B E T

教養専門科目群

Advanced Liberal Arts Courses (ALA)

48単位以上

「学びの軸足」として選んだ領域を中心に、
様々な切り口で学びを深めます。

グローバル・ビジネス領域 GB

●代数学	B E	●微積分学	B E T	●日本金融と実践	B	企業財務	B	MBAエッセンシャルズ	B
経済学の数学的方法	E T	●線形代数学	B E T	マーケティングと数量分析	B	戦略的マネージメント	B	スモール・ビジネス・マネージメント	B
●経済学原理ミクロ◎	B E S	マネージメント原理と実践	B	消費者行動	B	技術と社会	B T	中級マクロ経済学	E
経済データ分析	E T	金融理論と応用	B	グローバル・マーケティング	B	時系列分析	E	オープンマクロ経済学	E
●国際財務管理	B E	経済学原理マクロ◎	B E S	国際貿易論	E	ファイナンスデータ演習	B	環境経済学	E S
国際ビジネス	B	流通論	B	産業組織論	E	人的資源管理論	B	公共経済学	E
経営における意思決定の基礎	B	国際ビジネスロー	B	貨幣、銀行と金融市場	E	●日本のビジネス文化	B	デジタル・マーケティング戦略	B
組織行動論	B	会計学	B	開発経済学	E	エコビジネスとサステナビリティ	B S	マーケティング・コミュニケーション	B H
マーケティング原理	B H	財務会計	B	計量経済学	E	ポートフォリオマネージメント	B	国境を越えずに国境を超える(AIU-HAN共同科目)	B
●統計学●	B E T	管理会計	B	中級ミクロ経済学	E	行動ファイナンス	B	データモデリング	B T

●の付いた科目は教養基盤科目群と教養専門科目群の両方の要件を満たす科目です。

● グローバル・ビジネス領域必修 ◎ グローバル・ビジネス領域選択必修

グローバル・スタディズ領域 GS

●文化人類学	G S H	●ジェンダー学概論	G	欧州の政治システム	P	国際動態論	G P S	ビジュアル・ポリティクス	P H T
●生物学入門	S	アメリカ史	P	社会科学調査法	G P S	環大西洋米欧交流史	P	アメリカの外交政策	P
●生物実験	S	中国近現代史	P	●国際協力・開発論Ⅰ	P S	EU学への招待	P	サイバー心理学	G T
●教育制度論	G	朝鮮近現代史	P	●地域発展論	G S	●日本の外交政策	P	グローバル化時代における社会的課題	G
●環境科学	S	モンゴル近現代史	P	●メディア・リテラシー	G H	●秋田学Ⅱ	S	農村社会学	G S
●人文地理学	G S	欧州近現代史	P	●サステナビリティ思考概論	S	●日米関係論	P	関係人口論	G S
●自然地理学	G S	●日本史Ⅰ	P	●人間のあり方と自己：	G H	近代中国の政治と思想	P	国際協力・開発論Ⅱ	P S
●世界史Ⅰ	P H	●日本史Ⅱ	P	文化人類学の視点から		中国の外交政策	P	中国現代社会	G P
●世界史Ⅱ	P S H	●日本の政治	P	人工知能と人類	G T	●日中関係論	P	マスメディアと社会	G H
●政治学	P	●日本国憲法と法	P	世界のデジタルコミュニティ	G H T	韓国開発政治論	P	グローバルメディア	G H
●社会学	G	●日本社会概論	G	経済学原理マクロ	B E S	東南アジアの政治と社会	P	今日の台湾	G P
●経済学原理ミクロ	B E S	●秋田学Ⅰ	S	エコビジネスとサステナビリティ	B S	国家と市場	P	ロシア現代社会	G P
●国際ニュースのディベート	P H	●国際関係論	P	EUの政治と経済	P	国際安全保障	P	持続可能な開発のためのコンサベーション	S
●国際ニュースの実践的聴取	P H	●政治思想概論	P	環境経済学	E S	国際組織と持続可能な発展	P S		
●北アメリカの地理	G	●国際法と国際機構	P S	国際環境科学	S	国境と人の移動	G P		
●東アジアの地理	G	ネーションとナショナリズム	P	地域多様性論	G	国際強制移動学	G P		
都市地理学	G S	比較政治論	P	グリーン・エコノミーへの		社会運動	G P T		
村落地理学	G S	アメリカの政治システム	P	多角的アプローチ(PBL)	S	政治的コミュニケーション	P H		

グローバル・コネクティビティ領域 GC

●文化人類学	G S H	●世界史Ⅱ	P S H	マーケティング原理	B H	●生きるための音楽	H	●日本における宗教	H
●美術史	H	●批判的思考とディベート	H	●応用言語学	H	●マクロ「音楽」学	H	●異文化理解の視点から見る	H
●美術実技Ⅰ ガラス細工	H	●日本伝統文化Ⅰ	H	●世界の英語文学	H	●理論哲学	H	日本の社会と文化	
プログラミング基礎	T	●日本伝統文化Ⅱ	H	●クリエイティブ・ライティング	H	●実践哲学	H	●日本言語学	H
デジタル時代の重要課題	T	●世界の中の日本	H	●国際ニュースのディベート	P H	●メディア・リテラシー	G H	●グローバル化する	H
●スピーチ・コミュニケーションの基礎	H	●教養数学	T	●国際ニュースの実践的聴取	P H	●人間のあり方と自己：	G H	日本の重要課題	
●グローバルイシュー分析と討議	H	●西洋思想文化	H T	英米民衆文化論	H	文化人類学の視点から		●近代日本社会文化史	H
●英語文学	H	●東洋思想文化	H	●科学史と科学哲学	H T	●世界の中の日本美術	H	●現代日本の視覚文化	H
●叙事詩から始まる文学	H	●心理学Ⅰ	H	●修辞学	H	科学と芸術の文化史、理論、評論	H T	●日本映画Ⅱ	H
●英語学概論	H	●心理学Ⅱ	H	情報科学	T	機械学習とビッグデータ	T	●日本映画Ⅲ	H
●英語教育教材としての民衆文化	H	●先史考古学と	H	●日本の文学Ⅰ	H	応用語用論	H	データモデリング	B T
●プロフェッショナル・ライティング	H	日本人エスニシティ論		●日本映画Ⅰ	H	学習とデザイン	T	詩的プログラミング	T
●ビジネス現場の	H T	●異文化間コミュニケーション	H	●統計学	B E T	デジタル時代における意味構築	H T	比較哲学	H
デジタル・コミュニケーション		報道メディアと文化とイデオロギー	H	AI、ゲームと数学	T	人工知能と人類	G T	社会運動	G P T
●ニュースの英語	H	科学コミュニケーション	H T	●デジタル世界の数学	T	世界のデジタルコミュニティ	G H T	政治的コミュニケーション	P H
●コミュニケーションと演劇	H T	学習と科学技術	T	●微積分学	B E T	技術と社会	B T	ビジュアル・ポリティクス	P H T
●言語学	H	デジタルストーリーテリング	H T	●線形代数学	B E T	マーケティング・コミュニケーション	B H	サイバー心理学	G T
●社会言語学	H	経済学の数学的方法	E T	●クラシック音楽の聴き方	H	グローバルコミュニケーション	H	マスメディアと社会	G H
●世界史Ⅰ	P H	経済データ分析	E T	●初級ヴァイオリン実技Ⅰ～Ⅱ	H	●日本の文学Ⅱ	H	グローバルメディア	G H



学長／教授 [スリランカ]
モンテ・カセム
Monte CASSIM
修士／東京大学
■健康・環境・生命科学

副学長／教授／国際交流部長 [日本]
熊谷 嘉隆
Yoshitaka KUMAGAI
博士／オレゴン州立大学
■自然保全政策・森林の多目的利用

副学長 [日本]
磯貝 健
Ken ISOGAI
修士／コーネル大学
■経営管理・キャリア教育

国際教養学部 国際教養学科 教員一覧

英語集中プログラム(EAP)

学部長／教授 [アメリカ]
パトリック・ドーティ
Patrick DOUGHERTY
博士／ノーザンアリゾナ大学
■教育、応用言語学

英語集中プログラム・外国語教育代表／
准教授 [オーストラリア]
マルコム・シム
Malcolm SIM
博士／マッコーリー大学
■応用言語学

教授 [日本]
荒木 直子
Naoko ARAKI
博士／メルボルン大学
■外国語教育、演劇教育学、カリキュラムと教育法

教授 [アメリカ]
リー・フリードリック
Lee FRIEDERICH
博士／ワシントン大学セントルイス
■現代日本女性詩、英語文学

准教授 [アメリカ]
カルロス・バディン
Carlos BUDDING
修士／ジョージメイソン大学、ギャロデット大学
■第二言語教育

准教授 [アメリカ]
ジョエル・フリードリック
Joel FRIEDERICH
芸術学修士／モンタナ大学
■クリエイティブ・ライティング、詩

学生部長／准教授 [日本]
長沼 奈絵子
Naeko NAGANUMA
修士／セントクラウド州立大学
■応用言語学、英語教育学

助教 [カナダ]
マーク・ディボア
Mark DE BOER
修士／パーミンガム大学
■内容言語統合型学習、実践、文章完成法、評価

助教 [アイルランド]
イアン・ハーリー
Ian HURLEY
博士／ダブリン市立大学
■EAP、応用言語学、言語学、教育学

英語集中プログラムコーディネーター／助教 [イギリス]
ジェームズ・リード
James REID
修士／エセックス大学
■教育心理学

助教 [カナダ]
ミゲル・ソーサ
Miguel SOSA
修士／コロンビア大学、オタワ大学
■言語学、音楽学

助教 [イギリス]
ジョー・サイクス
Joe SYKES
博士／シェフィールド・ハラム大学
■教育学

助教 [日本]
田金 雄一
Yuichi TAGANE
修士／国際教養大学
■第二言語ライティング、学業における不正行為

講師 [イギリス]
リー・ベネット
Leigh BENNETT
修士／キングス・カレッジ・ロンドン
■アカデミック・ライティング

講師 [イギリス]
レベッカ・クレッグササキ
Rebecca CLEGG-SASAKI
修士／国際教養大学
■EAP

講師 [アメリカ]
ブライアン・ハーン
Bryan HAHN
修士／ロヨラ・メリーマウント大学
■第二言語としての英語教授法、人類学

外国語教育

教授 [中国]
陳 風
Feng CHEN
修士／東京外国語大学
■日本語学、中国語学、日中対照研究

准教授 [韓国]
邊 姫京
Hi-Gyung BYUN
博士／東京大学
■音声学、日韓対照研究、韓国語教育

助教 [韓国]
崔 壯源
Jang-Won CHOI
博士／広島大学
■音声教育方法

講師 [日本]
中田 俊介
Shunsuke NAKATA
修士／エクス＝マルセイユ第一大学、東京外国語大学
■フランス語音声学、音韻論、音声教育

◎職位 ◎出身国・地域 ◎氏名 ◎学位 ◎研究所属分野 の順で記載

教養専門科目群 グローバル・ビジネス領域 (GB)

グローバル・ビジネス領域長／教授 [オーストラリア]
クリントン・ワトキンス
Clinton WATKINS
博士／西オーストラリア大学
■金融

准教授 [日本]
俵 典和
Norikazu TAWARA
博士／シカゴ大学
■労働経済学、マクロ経済学、経済成長論

准教授 [日本]
中川 秀幸
Hideyuki NAKAGAWA
博士／カリフォルニア大学バークレー校
■応用ミクロ経済学

准教授 [韓国]
杜 文媿
Wenti DU
博士／クレアモント大学院大学
■マクロ経済学、国際経済学、国際金融

助教 [韓国]
スンキュー・リー
Sungkyu LEE
博士／高麗大学
■マーケティング戦略

助教 [タイ]
スパルー・サファイトゥーン
Suppaleuk SARPPHAITOON
博士／クレアモント大学院大学
■日本経済、金融、高齢化社会

特任教授 [日本]
江原 晴郎
Haruo EBARA
修士／慶応義塾大学
■企業財務管理の意思決定理論

特任教授 [日本]
笹渕 一史
Kazushi SASABUCHI
修士／アークサー・リトル経営大学
(現 ハルト・インターナショナル・ビジネススクール)
■経営組織論、マクロ経済政策、金融経済

特任教授 [アメリカ]
アンドリュー・サター
Andrew SUTTER
法学博士／カリフォルニア大学
■ディグロース、比較法、応用哲学

客員教授 [日本]
隈本 純
Jun KUMAMOTO
博士／国際基督教大学
■マーケティング

客員教授 [日本]
齋藤 弘
Hiroshi SAITO
修士／ジョンズ・ホプキンス大学
■グローバル下の日本金融・政治の現状と課題

客員教授 [日本]
山岡 三四郎
Sanshiro YAMAOKA
修士／スタンフォード大学
■マネジメント、リーダーシップ、企業分析

客員教授 [日本]
山内 麻理
Mari YAMAUCHI
博士／慶応義塾大学
■ビジネス手法による社会課題解決の実践

教養専門科目群 グローバル・スタディーズ領域 (GS)

グローバル・スタディーズ領域長／教授 [日本]
水野 智仁
Norihiro MIZUNO
博士／オハイオ州立大学
■近世・近代日本の東アジア交流史

教授 [韓国]
キ・ドゥ・ヒョン
Ki Deuk HYUN
博士／テキサス大学オースティン校
■メディア研究

教授 [日本]
豊田 哲也
Tetsuya TOYODA
高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学
■国際法、国際組織

准教授 [アメリカ]
ケビン・ハックムス
Kevin HOCKMUTH
博士／テンブル大学
■政治経済学、開発論、韓国研究

准教授 [日本]
堀井 里子
Satoko HORII
博士／サセックス大学
■人の移動をめぐる政治制度 (主にEU)

准教授 [日本]
工藤 尚悟
Shogo KUDO
博士／東京大学
■サステナビリティ学、開発学、地域づくり

准教授 [日本]
名取 洋司
Yoji NATORI
博士／ウィスコンシン大学マディソン校
■生物多様性保全、SATOYAMA、自然資本

准教授 [日本]
大森 久子
Hisako OMORI
博士／マクマスター大学
■文化人類学、宗教学

准教授 [日本]
梶本 歩美
Ayumi SUGIMOTO
博士／東京大学
■環境社会学、農村社会学、コミュニティ研究

准教授 [アメリカ]
ノア・ケオネ・ヴィエルネス
Noah Keone VIERNES
博士／ハワイ大学マノア校
■政治理論

助教 [台湾]
陳 宥樺
Yu-Hua CHEN
博士／オーストラリア国立大学
■台湾研究、中国研究、国際関係論

助教 [イギリス]
ルーク・ディリー
Luke DILLEY
博士／ニューカッスル大学
■農村研究、農村社会学

助教 [日本]
竹本 周平
Shuhei TAKEMOTO
修士／東京外国語大学
■米露関係、米露核軍備管理、国際安全保障

特任教授 [日本]
増田 達夫
Tatsuo MASUDA
学士／ケンブリッジ大学
■気候変動・エネルギー、技術、歴史・地政学

特任准教授 [アメリカ]
シグ・ランエガー
Sig LANGEGER
博士／コロラド大学デンバー校
■都市の公共空間

客員教授 [日本]
古川 英治
Eiji FURUKAWA
修士／オックスフォード大学大学院
■国際関係、ロシア・東欧、ジャーナリズム

客員教授 [アメリカ]
パトリック・ショープ
Patrick SHORB
博士／プリンストン大学
■歴史、教育学

※この一覧には、2024年1月末現在で確定している2024年4月1日以降の専任教員、特命教員、特任教員、客員教員を記載しています。

教員紹介

◎職位 ◎出身国・地域 ◎氏名 ◎学位 ◎研究所属分野 の順で記載

国際教養学部 国際教養学科 教員一覧

教養専門科目群		グローバル・コネクティビティ領域 (GC)	
	学部長／教授 [イギリス] アンディ・クロフツ Andy CROFTS 博士／ヨーク大学 ■細胞生物学、科学教育		グローバル・コネクティビティ領域長／ICTコーディネーター／教授 [フランス] フローラン・ドメナック Florent DOMENACH 博士／パリ第一大学パンテオン・ソルボンヌ ■データマイニング、プログラミング教育
	教授 [日本] 奈良 寧 Yasushi NARA 博士／北海道大学 ■原子核理論		准教授 [日本] 千葉 加恵子 Kaeko CHIBA 博士／ブリストル大学 ■社会階層、ジェンダー、日本の伝統芸能
	助教 [ロシア] イリーナ・クズネツォフ Irina KUZNETSOVA 博士／オハイオ州立大学 ■テクノロジーと教育、ゲーム、EMI(英語を媒介とする授業)、教育心理学		助教 [イギリス] カイル・シャトルワース Kyle SHUTTLEWORTH 博士／クイーンズ大学ベルファスト ■哲学、倫理学、環境倫理学、和辻哲郎の思想
	助教 [アメリカ] パメラ・テイラー Pamela TAYLOR 博士／京都大学 ■感情心理学		助教 [アメリカ] エリック・ヤンチェンコ Eric YANCHENKO 博士／ノースカロライナ州立大学 ■統計学、ネットワーク科学、データ科学
	特任教授 [日本] 阿部 邦子 Kuniko ABE 博士／パリ大学ソルボンヌ校 ■美術史、建築史、東西比較芸術論、文化遺産学		特任教授 [日本] 金岡 秀郎 Hidero KANAOKA 修士／東京大学 ■モンゴル学、仏教学
	特任准教授 [日本] 廣津留 すみれ Sumire HIROTSURU 修士／ジュリアード音楽院 ■音楽(ヴァイオリン演奏)		客員教授 [日本] 小牟禮 尊人 Takahito KOMURE 学士／東京造形大学 ■吹きガラスとキルンワークでの作品制作
	客員教授 [日本] 鈴木 正明 Masaaki SUZUKI 博士／東京大学 ■計算機を利用した位相幾何学		

日本語プログラム			
	日本語プログラム代表／教授 [日本] 阿部 祐子 Yuko ABE 修士／お茶の水女子大学 ■日本語教育、異文化間教育		教授 [日本] 近藤 裕美子 Yumiko KONDO 修士／筑波大学 ■日本語教育学、教師教育学
	助教 [日本] 初田 絢奈 Ayana HATSUDA 博士／アリゾナ大学 ■日本語社会言語学、会話分析		准教授 [日本] 浜田 英紀 Hideki HAMADA 博士／インディアナ大学 ■日本語教育、外国語教育
	助教 [日本] 橋本 洋輔 Yosuke HASHIMOTO 博士／東北大学 ■日本語教育、特別支援教育、認知神経科学		



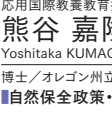
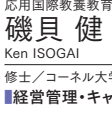
教職課程			
	教職課程代表／教授 [日本] 松田 聡 Satoshi MATSUDA 学士／獨協大学 ■高等学校教育 (教育課程、特別活動等)		准教授 [日本] 遠藤 秀弘 Hidehiro ENDO 博士／パデュエ大学 ■教育学、多文化教育、英語教育
	特命教授 [日本] 佐藤 健公 Kenkoh SATOH 学士／弘前大学 ■高等学校教育 (生徒指導、教育実習等)		客員教授 [日本] 塚本 宏明 Hiroaki TSUKAMOTO 学士／秋田大学 ■各国と日本のインクルーシブ教育

名誉教授					
名誉学長 [日本] 中嶋 嶺雄 Mineo NAKAJIMA	特別功労教授 [日本] 寺田 典城 Sukeshiro TERATA	特別功労教授 [日本] 給田 英哉 Hideya TAIDA	名誉教授 [日本] 明石 康 Yasushi AKASHI	名誉教授 [日本] 鮎澤 孝子 Takako AYUSAWA	名誉教授 [日本] 前中 ひろみ Hiromi MAENAKA
名誉教授 [日本] 勝又 美智雄 Michio KATSUMATA	名誉教授 [ロシア] アレクサンダー・ドーリン Alexander DOLIN	名誉教授 [日本] 森園 浩一 Koichi MORIZONO	名誉教授 [日本] 伊藤 陽一 Yuuichi ITO	名誉教授 [日本] 市川 博也 Hiroya ICHIKAWA	名誉教授 [日本] 佐野 ひろみ Hiromi SANO
名誉教授 [日本] 杉山 朗子 Akiko SUGIYAMA	名誉教授 [ポーランド] マーチン・シュローダー Marcin SCHROEDER	名誉特任教授 [中国] ウェイ・ホンユン Hongyun WEI	名誉特任教授 [イギリス] グレゴリー・クラーク Gregory CLARK	名誉客員教授 [日本] 縣 正彦 Masahiko AGATA	名誉教授 [日本] 石川 薫 Kaoru ISHIKAWA

専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科 教員一覧

英語教育実践領域	日本語教育実践領域	発信力実践領域
		
グローバル・コミュニケーション実践研究科長・専攻長／英語教育実践領域代表／教授 [日本] 内田 浩樹 Hiroki UCHIDA 修士／南山大学 ■英語教育	日本語教育実践領域代表／教授 [日本] 左治木 敦子 Atsuko SAJIKI 博士／インディアナ大学 ■日本語教授法、日本語教師養成	発信力実践領域代表／教授 [日本] 谷川 幹 Miki TANIKAWA 博士／テキサス大学オースティン校 ■国際メディア、グローバルコミュニケーション
		
教授 [日本] 町田 智久 Tomohisa MACHIDA 博士／イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 ■小学校英語教育、教師教育、外国語不安	准教授 [日本] 堀内 仁 Hitoshi HORIUCHI 博士／テキサス大学オースティン校 ■言語学、日本語教育	客員教授 [日本] 清宮 徹 Toru KIYOMIYA 博士／ミシガン州立大学 ■組織コミュニケーション、組織ディスコース
		
教授 [アメリカ] クレイ・ウィリアムス Clay WILLIAMS 博士／アリゾナ大学 ■心理言語学、視覚的言語処理	准教授 [日本] 嶋 ちはる Chiharu SHIMA 博士／ウィスコンシン大学マディソン校 ■第二言語習得、第二言語での相互行為	客員教授 [日本] 小西 克哉 Katsuya KONISHI 修士／東京外国語大学 ■アメリカ政治過程論、外交、会議通訳
		
准教授 [アメリカ] クリストファー・カール・ヘイル Christopher Carl HALE 博士／ノースイースタン大学 ■アクションリサーチ、第二言語習得	特命教授 [日本] 伊東 祐郎 Sukero ITO 修士／西イリノイ大学 ■日本語教育学、応用言語学(テストング・評価)	

産学連携 研究・学修支援組織 教員一覧

中嶋記念図書館			
	図書館長／教授 [日本] 豊田 哲也 Tetsuya TOYODA 高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学 ■国際法、国際組織		
応用国際教養教育推進機構			
	応用国際教養教育推進機構構長 [スリランカ] モンテ・カセム Monte CASSIM 修士／東京大学 ■健康・環境・生命科学		応用国際教養教育推進機構副構長／日本学修センター長 [日本] 熊谷 嘉隆 Yoshitaka KUMAGAI 博士／オレゴン州立大学 ■自然保全政策・森林の多目的利用
			応用国際教養教育推進機構副構長 [日本] 磯貝 健 Ken ISOGAI 修士／コーネル大学 ■経営管理・キャリア教育

能動的学修センター		
	能動的学修センター長／教授 [日本] 豊田 哲也 Tetsuya TOYODA 高等研究学位 (DEA)／パリ第2大学 ■国際法、国際組織	言語異文化学修センターコーディネーター／准教授 [アメリカ] カルロス・パディング Carlos BUDDING 修士／ジョージメイソン大学、ギャローデット大学 ■第二言語教育
		アカデミック・キャリア支援センターコーディネーター／准教授 [日本] 大森 久子 Hisako OMORI 博士／マクマスター大学 ■文化人類学、宗教学
	デザイン創造・データサイエンスセンター長／特命教授 [日本] 精山 明敏 Akitoshi SEIYAMA 博士／北海道大学 ■IoT技術の開発と脳科学への応用	地域連携協働研究センター長／教授 [イギリス] アンディ・クロフツ Andy CROFTS 博士／ヨーク大学 ■細胞生物学・科学教育
	デザイン創造データサイエンスセンターコーディネーター／准教授 [日本] 俵 典和 Norikazu TAWARA 博士／シカゴ大学 ■労働経済学、マクロ経済学、経済成長論	地域連携協働研究センターコーディネーター／准教授 [日本] 中川 秀幸 Hideyuki NAKAGAWA 博士／カリフォルニア大学バークレー校 ■応用ミクロ経済学
		日本研究プログラムコーディネーター／准教授 [アメリカ] ショーン・オライリー Sean O'REILLY 博士／ハーバード大学 ■日本映画史、映画分析、日本史、幕末時代
		テーマ別ハウス群コーディネーター(学生宿舎)／准教授 [日本] 嶋 ちはる Chiharu SHIMA 博士／ウィスコンシン大学マディソン校 ■第二言語習得、第二言語での相互行為

※この一覧には、2024年1月末現在で確定している2024年4月1日以降の専任教員、特命教員、特任教員、客員教員を記載しています。

1年間の留学義務

One-Year Study Abroad Program

飛び込む先は、世界トップクラスの大学 現地の学生と対等に学び合う1年間

動画で見る



本学ではすべての学生が留学先大学の専門科目の授業を受け、卒業に必要な単位を修得します。自らの関心に沿って選択した多種多様な留学先で、現地の優秀な学生と対等に議論を交わし、多くの価値観に触れる中で、専門領域に関わる理解を深めます。また、自国や自分自身を見つめ直し、未来への指針を見いだします。厳しくも学びがいのある環境で、学生たちは大きな成長を遂げます。

世界トップレベルの 203大学へ

51カ国・地域から大学を選択し、「現地学生」として専門科目を履修。所定の成績を修めた単位を認定します。

異文化の地で 人間力を鍛える

本学の留学は1～3名の少人数派遣。慣れない環境でも自ら工夫し困難に立ち向かう人へと成長します。

留学先の 授業料免除

本学に納める授業料により留学先の授業料を免除（一部大学を除く）。経済的な負担が少なく、現地での学びに集中できます。

留学出発までの流れ | 何を学ぶためにどこに留学し、どのように過ごすか。決めるのは、自分自身。

STEP.1 入学後

1

情報収集しながら 自分の留学像を明確にする

帰国した先輩や外国人留学生から情報が得られる「留学フェア」、提携校の資料や留学レポートが閲覧できる「留学ラウンジ」、職員に直接相談できる「留学相談」など、国際センターがサポートします。

日頃の学びにおける留学準備

英語力

現地学生と議論できるよう英語力を鍛える

学業成績

留学要件をクリアしてさらに上を目指す

専門領域

留学先で究めたい分野を明確化する

STEP.2 出発の1年半～

2

学びたい専門分野を見極めて 留学したい大学をリサーチ

関心がある国や地域、自分が学びたい専門領域を考慮し、アカデミック・アドバイザーと相談しながら留学先大学や履修する科目を決定します。成績維持を心がけて学内選考に臨みます。

留学の要件

TOEFL®/ITP TEST: 550点相当以上
GPA(成績評価平均点): 2.50以上

学内申請・選考

STEP.3 出発直前の学期

3

決定した留学先への 準備を開始する

学内選考を経て留学先が決定したら、各種手続を学生自身で行います。現地との英語による折衝が必要な場合があり、留学準備自体が学びの機会になります。

各種手続などの準備は国際センターがサポートします。

〈各種手続き〉
住居申請、健康診断、予防接種、ビザ・滞在許可申請、危機管理、保険加入 など
〈渡航準備〉
航空券手配、渡航チェック

※一定の英語力・成績要件をクリアしてから留学するため、留学時期は学生によって異なり、多くは2年次の冬から3年次の秋にかけて出発しています。
※学生の成績や提携大学の事情などにより、希望する大学に留学できない場合があります。



Student Voice

富田 莉帆
高知県／2020年入学
Riho TOMITA

留学先

高麗大学(韓国)

候補となった大学

- ①高麗大学(韓国)
- ②建国大学(韓国)
- ③梨花女子大学(韓国)
- ④KAIST[韓国科学技術院](韓国)
- ⑤ソウル国立大学(韓国)
- ⑥亜州大学(韓国)

やりたいこととできることの 狭間を埋めたアドバイスで 第一志望に留学！

大学で学ぶ中で韓国社会への興味が湧き、留学したいと思うようになりました。留学先大学の検討では、英語の授業だけではなく韓国語開講科目にも挑戦したいと決意。相談したアドバイザーの先生が、私の希望と現実的なレベルに応じた科目を提案してくださったので、晴れて高麗大学へと留学することができました。

51の国と地域に広がる203の大学

(2023年9月1日現在)

Europe/Africa | ヨーロッパ 74校 / アフリカ 4校

- **アイルランド**
Maynooth University
メイヌース大学
- **イギリス**
Keele University
キール大学
Newcastle University
ニューカッスル大学
The University of Sheffield
シェフィールド大学
University of Aberdeen
アバディーン大学
University of Central Lancashire
セントラルランカシャー大学
University of East Anglia
イースト・アングリア大学
University of Essex
エセックス大学
University of Exeter
エクセター大学
University of Leeds
リーズ大学
University of Sussex
サセックス大学
- **イタリア**
Ca' Foscari University of Venice
ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学
University of Bologna
ボローニャ大学
University of Ferrara
フェラーラ大学
University of Siena
シエナ大学
University of Turin
トリノ大学
- **エストニア**
Tallinn University
タリン大学
- **オーストリア**
FH Joanneum University of Applied Sciences
ヨアネウム大学
- **オランダ**
Amsterdam University of Applied Sciences
アムステルダム応用科学大学
HAN University of Applied Sciences
HAN応用科学大学
Hanze University of Applied Sciences, Groningen
ハンゼ応用科学大学
Leiden University
ライデン大学
- **キプロス**
University of Nicosia
ニコシア大学
- **クロアチア**
Zagreb School of Economics and Management
ザグレブ経済経営大学
- **スイス**
Eastern Switzerland University of Applied Sciences
東スイス応用科学大学
Zurich University of Applied Sciences Winterthur
チューリッヒ応用科学大学
- **スウェーデン**
Linköping University
リンショーピング大学
Linnaeus University
リンネ大学
- **スペイン**
Universidad Carlos III De Madrid
マドリッド・カルロスIII世大学
Universidad de Alicante
アリカンテ大学
Universidad de Malaga
マラガ大学
Universitat Autònoma de Barcelona
バルセロナ自治大学
University of Burgos
ブルゴス大学
University of Jaen
ハエン大学
- **スロバキア**
Comenius University
コメニウス大学
- **スロベニア**
University of Ljubljana
リュブリアナ大学
- **チェコ**
Masaryk University
マサリック大学
- **デンマーク**
Aalborg University
オールボー大学
Aarhus University
オーフス大学
- **ドイツ**
Ludwigshafen University
of Business and Society,
University of Applied Sciences
ルードビヒスハーフェンビジネス・社会応用科学大学
Philipps-Universität Marburg
マルブルグ大学
University of Passau
パッサウ大学
- **ノルウェー**
NHH Norwegian School of Economics
ノルウェー経済大学
University of Bergen
ベルゲン大学
University of Oslo
オスロ大学
- **ハンガリー**
University of Pecs
ペーチ大学
- **フィンランド**
Tampere University
タンペレ大学
University of Lapland
ラップランド大学
University of Vaasa
ヴァーサ大学
- **フランス**
Burgundy School of Business
バーガンディー・スクール・オブ・ビジネス
NEOMA Business School
ネオマジネスクスル
Rennes 2 University
レンヌ第2大学
Rennes School of Business
レンヌビジネススクール
Sciences Po Grenoble
グルノーブル政治学院
Sciences Po Lille
リール政治学院
Sciences Po Rennes
レンヌ政治学院
Toulouse Business School
トゥールーズビジネススクール
University Toulouse - Jean Jaures
トゥールーズ・ジャン・ジョレス大学
- **ベルギー**
Ghent University
ゲント大学
Brussels School of Governance
ブリュッセル・スクール・オブ・ガバナンス
- **ポーランド**
University of Lodz
ウッチ大学
Warsaw School of Economics
ワルシャワ経済大学
- **ポルトガル**
ISCTE-Lisbon University Institute
ISCTEリスボン
Universidade Católica Portuguesa
カトリック大学
University of Porto
ポルト大学
- **マルタ**
University of Malta
マルタ大学
- **ラトビア**
University of Latvia
ラトビア大学
- **リトアニア**
Vilnius University
ヴィリニウス大学
Vytautas Magnus University
ヴィタウタス・マグナス大学
- **ルーマニア**
University of Bucharest
ブカレスト大学
- **ロシア**
Far Eastern Federal University
極東連邦大学
International University in Moscow
モスクワ国際大学
Lomonosov Moscow State University,
Institute of Asian and African Studies
モスクワ大学アジア・アフリカ学院
National Research University Higher School
of Economics
ロシア国立研究大学高等経済学院
- **エジプト**
Cairo University
カイロ大学
Egypt-Japan University
of Science and Technology
エジプト-日本科学技術大学
The American University in Cairo
カイロ・アメリカン大学
- **モロッコ**
Al Akhawayn University
アル・アハワイン大学

Asia/Oceania | アジア 42校 / オセアニア 13校

- **インドネシア**
Universitas Indonesia
インドネシア大学
- **韓国**
Ajou University
亜細亜大学
Busan University
of Foreign Studies
釜山外国語大学
Ewha Womans University
梨花女子大学
Konkuk University
建国大学
Korea Advanced Institute
of Science and Technology
KAIST(韓国科学技術院)
Korea University
高麗大学
Seoul National University
ソウル国立大学
Sogang University
西江大学
Yonsei University
延世大学
- **シンガポール**
Nanyang Technological University
ナンヤン工科大学
National University of Singapore
シンガポール国立大学
- **タイ**
Chulalongkorn University
チュラロンコン大学
Kasetsart University
カセサート大学
Mahidol University
International College
マヒドン大学インターナショナルカレッジ
Thammasat University
タマサート大学
- **台湾**
Fu Jen Catholic University
天主教輔仁大学
Kainan University
開南大学
National Chengchi University
国立政治大学
National Chi Nan University
国立暨南国際大学
National Taiwan Normal University
国立台湾師範大学
National Taiwan University
国立台湾大学
Tamkang University
淡江大学
Yuan Ze University
元智大学
- **中国**
Jilin University
吉林大学(外国語学院)
Nanjing University
南京大学
Nankai University
南開大学
Wuhan University
武漢大学
- **香港**
Hong Kong Baptist University
香港バプティスト大学
Lingnan University
嶺南大学
The Chinese University
of Hong Kong
香港中文大学
The University of Hong Kong
香港大学
- **フィリピン**
Ateneo de Manila University
アテネオ大学
- **ブルネイ**
Universiti Brunei Darussalam
ブルネイ・ダルサラーム大学
- **ベトナム**
Foreign Trade University
貿易大学
VNU University
of Economics and Business
ベトナム国家大学ハノイ校経済ビジネス大学
- **マカオ**
Macau University
of Science and Technology
マカオ科技大学
University of Macau
マカオ大学
- **マレーシア**
Universiti Sains Malaysia
マレーシア科学大学
University of Malaya
マラヤ大学
- **モンゴル**
National University of Mongolia
モンゴル国立大学
University of the Humanities
モンゴル人文大学
- **オーストラリア**
Deakin University
ディーキン大学
Griffith University
グリフィス大学
La Trobe University
ラトロブ大学
Macquarie University
マククワリー大学
Swinburne University of Technology
スウィンバン大学
The Australian National University
オーストラリア国立大学
The University of New South Wales
ニューサウスウェールズ大学
The University of Sydney
シドニー大学
The University of the Sunshine Coast
サンシャインコースト大学
The University of Western Australia
ウェスタンオーストラリア大学
University of Southern Queensland
南クイーンズランド大学
- **ニュージーランド**
University of Canterbury
カンタベリー大学
Victoria University of Wellington
ヴィクトリア大学ウェリントン校

North and South America | 北米 67校 / 中南米 3校

- **カナダ**
Université Laval
ラヴァール大学
University of Manitoba
マニトバ大学
University of Toronto
トロント大学
University of Victoria
ビクトリア大学
University of Waterloo
ウォータールー大学
University of Windsor
ウインザー大学
Wilfrid Laurier University
ウィルフリッドロリエ大学
- **アメリカ**
Alverno College
アルヴァーノカレッジ
Arizona State University
アリゾナ州立大学
Ball State University
ボール州立大学
Beloit College
ベロイトカレッジ
Centre College
センターカレッジ
Dickinson College
ディキンソン・カレッジ
Drexel University
ドレクセル大学
Eastern Oregon University
イースタンオレゴン大学
George Mason University
ジョージメイソン大学
Gonzaga University
ゴンザガ大学
Hamline University
ハムリン大学
Hampden-Sydney College
ハンプデン・シドニーカレッジ
High Point University
ハイポイント大学
Ithaca College
イサカカレッジ
Knox College
ノックスカレッジ
Lincoln Memorial University
リンカーンメモリアル大学
Lyon College
ライオンカレッジ
Marist College
マリスタカレッジ
Millsaps College
ミルサップスカレッジ
Mississippi State University
ミシシッピ州立大学
Monmouth College
モンマスカレッジ
Oregon Institute of Technology
オレゴン工科大学
Oregon State University
オレゴン州立大学
Portland State University
ポートランド州立大学
Presbyterian College
プレスビテリアンカレッジ
San Diego State University
サンディエゴ州立大学
San Francisco State University
サンフランシスコ州立大学
Southern Oregon University
サザンオレゴン大学
St. Cloud State University
ミネソタ州立セントクラウド大学
- **アメリカ**
St. Mary's College of California
セントメアリーズカレッジオブカリフォルニア
St. Mary's College of Maryland
セントメアリーズカレッジ オブ メリーランド
State University
of New York at Oswego
ニューヨーク州立大学オスウェゴ校
The College of William and Mary
ウィリアム・アンド・メアリー大学
The George Washington University
ジョージ・ワシントン大学
The University of Hawaii at Manoa
ハワイ大学マノア校
The University of Kentucky
ケンタッキー大学
The University of New Mexico
ニューメキシコ大学
Towson University
タウソン大学
Union College
ユニオンカレッジ
University of California Berkeley
カリフォルニア大学バークレー校
University of California Davis
カリフォルニア大学デイビス校
University of Colorado at Boulder
コロラド大学
University of Delaware
デラウェア大学※
University of Denver
デンヴァー大学※
University of Illinois at Urbana
-Champaign
イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校
University of Maine at Farmington
メイン大学ファームントン校
University of Mary Washington
メアリーワシントン大学
University of Mount Union
マウント・ユニオン大学
University of Northern Iowa
ノーザンアイオワ大学
University of Oregon
オレゴン大学
University of Richmond
リッチモンド大学
University of South Florida
サウスフロリダ大学
University of Utah
ユタ大学
Ursinus College
アーサイナスカレッジ
Washington & Jefferson College
ワシントン・ジェファーソンカレッジ
Western Oregon University
ウェスタンオレゴン大学
Western Washington University
ウェスタンワシントン大学
Winona State University
ミネソタ州立ウィノナ大学
- **チリ**
Universidad Adolfo Ibanez
アドルフ・イバネス大学
- **バハマ**
University of the Bahamas
バハマ大学
- **ペルー**
Universidad del Pacifico
パシフィコ大学
Universidad San Ignacio De Loyola
サン・イグナシオ・デ・ロヨラ大学
- **メキシコ**
The University of Colima
コリマ大学



提携大学一覧

◀提携大学の詳細はこちら

※先方の学部生受け入れに限定した学術交流協定。



ニューヨーク州立大学オスウェゴ校 (アメリカ合衆国)
State University of New York at Oswego

三宅 今日子 沖縄県／2021年入学 留学時期：2023年1月～2023年12月



学生団体を立ち上げリーダーシップ力を養う

政治学と社会学の授業に興味を持ったこと、大きな州立大学でありながら学生どうしの距離が近い点に魅力を感じてこの大学を選びました。留学を通して強く印象に残ったのは、日本ではあまり感じられないアメリカの個人主義的な価値観です。アメリカで自己を確立していく中で大きく成長し、自己認識を深めました。また女性の権利促進を唱える学生団体「Golden Z」を友人と立ち上げリーダーシップ力を培ったことは、人生に深い影響を与える経験となりました。留学先で出会った友達とは長い友人のように気が合い、友情を深めました。これからも続くであろう信頼関係は心強い支えであり、アメリカに「戻る拠点」を持てたことに喜びを感じています。

留学先で学んだ授業 African American Political Thought

アフリカ系アメリカ人コミュニティが直面した、奴隷制をはじめとする主要な課題に対するさまざまな史実、それらの課題が残した経済的・政治的遺産、そしてアメリカ政治文化全般への影響について探求しました。コースワークでは黒人政治思想についてのさまざまな系統を探求し、分析しました。



シンガポール国立大学 (シンガポール)
National University of Singapore

堀内 葉月 奈良県／2021年入学 留学時期：2023年8月～2024年5月



アジアのグローバル都市から日本を知る

シンガポールは多民族国家で地理的にも近隣諸国を訪れやすく、関心を持っていた東南アジアの国際関係について見識を広げるのに最適な場所だと考えました。そして世界有数の研究力を持ち優秀な学生が集まるNUSで、学際的視点を養いたいと思い留学を決めました。シンガポールの多文化社会や教育制度、都市国家ならではの政策は興味深く、多くの学生と議論して理解を深めました。現地の学生や世界各国の留学生、街中や旅先で出会った人など、多様な人々との対話を通して本当の意味で自分の世界が広がったと思います。留学を通して「アジアのグローバル都市から見た日本」を知り、日本や自分自身について深く見つめ直す機会となりました。

留学先で学んだ授業 Japan and the Asia-Pacific Region

アジア太平洋地域の国々と日本の外交関係に焦点を当て、日本の外交姿勢の歴史から歴史認識問題まで、学術論文を読み発表や議論を行いました。とりわけ印象深かったのは、日本占領時代のシンガポールの様子を伝える旧フォード工場を訪れたことです。現在の良好な日星関係が苦い歴史を経て築かれたことを実感する貴重な経験でした。



メイヌース大学 (アイルランド)
Maynooth University

村上 由芽 神奈川県／2020年入学 留学時期：2022年9月～2023年6月



人々の暮らしや国民性を肌で感じる

留学前にコミュニティ開発論や関係人口論の授業を履修し、農村学についてより詳しく学びたいと考えていました。社会学と地理学に強いメイヌース大学なら自分の学びが実現できると考えたことに加え、アイルランドの豊かな自然や陽気な国民性にも魅力を感じ留学先を選びました。留学中は「百聞は一見に如かず」ということわざどおり、人々の温かさや宗教に対する敬虔の念、のんびりとした暮らしなどを肌で感じました。そして異なる言語や文化背景を持つ学生との共同生活で、互いに理解しながらも自己を保つことの重要性を学びました。日本人の少ない地域だったので日本について質問を受ける機会が多く、日本の魅力や課題を再考するきっかけにもなりました。

留学先で学んだ授業 Medical Geography

健康に関する問題がなぜ生じるのか、居住地域によってどう違うのかなど、環境や社会的要因が疾患に及ぼす影響を、地理的要因に焦点を当てて学びました。アイルランドと日本が抱える医療問題の類似性を知り、人口規模は異なるものの都市部と農村地域の医療格差はどの国でも起こり得るということに気づきました。



オーストラリア国立大学 (オーストラリア)
The Australian National University

梶原 哲司 兵庫県／2021年入学 留学時期：2023年2月～2023年11月



科学哲学を学びコミュニケーションスキルを磨いた

オーストラリアで唯一の国立大学であり、日本ではなじみの薄い「科学哲学」を学べる点に魅力を感じました。また課外活動として取り組んできたディベートで実績があることも、この大学を選んだ理由の一つです。留学で身につけたのは、コンテキストによって表現を使い分けるコミュニケーション能力です。例えばディベートではフォーマルで説得力のある語彙や表現が求められ、哲学オリンピックでは相手の意見を尊重しつつ議論に貢献するための英語力が必要でした。哲学の授業やディスカッション、エッセイでは語彙によってニュアンスが大きく変わるので、正確な語彙と文法に気をを使うなど、場面に応じた適切なコミュニケーション能力を養いました。

留学先で学んだ授業 Philosophy of the Cosmos

留学当時のBrian Schmidt学長から「哲学と天文学の学びは両立できる」と背中を押していただき、履修を決めました。哲学科と数学科が共同で開講する宇宙哲学の授業で、天文学の研究に哲学的思想が影響を与えてきたこと、逆に哲学的問題に科学的アプローチが影響を与えていることなどを知り、リベラルアーツの学びを実践できました。



ヴィタウタス・マグナス大学 (リトアニア)
Vytautas Magnus University



土方 眞佑子

東京都／2020年入学 留学期間：2022年1月～2022年12月

ヴィタウタス・マグナス大学を選んだ理由

ヨーロッパに憧れがあり、1年間留学するならあまりなじみのない国に行きたいと考えていました。この大学で開講している言語やインクルーシブ教育に関わる科目に興味を持ち、留学先を選びました。好きな授業を学際的に履修できたので、言語・教育・政治・経済と幅広く学びました。市の中心地に大学の建物が点在し、通りを歩いていると大抵知り合いに会うので、街歩きがとても楽しかったです。授業以外では友人と旅行に行ったり、スポーツやボランティア活動をしたりとアクティブに活動しました。

AIUの留学制度の魅力とは

AIUでは1年次から寮生活などで自立心を養い、留学生との関わりや英語での基礎教育を経験します。そのため留学先でもすぐに環境に慣れ、語学学習や異文化体験にとどまらない専門的な学びができる点が強みだと考えています。



Mayuko HIJIKATA

AIU ⇄ 海外の提携大学



グラジュヴィダス・スタネヴィチウス

リトアニア 留学時期：2023年8月～2023年12月

国際教養大学を選んだ理由と留学生活

AIUの開講科目が母国の大学で学んでいる分野に合っており、興味を持ったので留学先を選びました。先生方の授業は素晴らしく、クラスメイトはとても親切でした。キャンパスは設備が充実しており生活しやすかったです。大学近くの飲食店がお気に入りの場所、そこで多くの友人を作ることができました。留学で特に印象に残っているのは、男鹿半島、角館、田沢湖へのバス旅行です。ナマハゲを間近で見たり、神社や武家屋敷を見学したりして思い出深い旅となりました。

留学して良かったと思うこと

世界各地、日本全国から集まる学生と出会い、秋田の人々や伝統文化に触れることができました。観光や街の散歩など充実した時間を過ごし、図書館では豊富な文献にアクセスできました。お金では買うことのできない経験が得られたと思います。



Grazvydas STANEVICIUS

多文化共生のキャンパスライフ

Multicultural Campus

30以上の国・地域から集う留学生と “世界の縮図”で送る日々が、人間力を高める

動画で見る



国際教養大学は、世界中に門戸を開く大学です。アジア太平洋地域や欧米諸国はもちろん、中南米やアフリカ大陸からも学生が集います。日本人学生の出身地も全国に広がり、多文化が響き合う環境を形成しています。少人数授業での熱気のこもった対話、寮や宿舎での共同生活、クラブ活動や地域交流活動などを通じた深い交流の中で、誰とでも憶せず語り合い、ともに行動する力を育みます。

キャンパス内
留学生の割合は
4人に1人

30を超える国・地域から年間約200人の留学生が集います。多様な文化が入り交じる「世界の縮図」とも言える環境です。

多彩な学生と
ともに暮らす

全学生の約9割がキャンパス内に居住。共同生活を通じ、グローバル社会で生きる術が自然に身についていきます。

地域と大学を
つなげる

世界中から集まった仲間とともに地域の伝統的な文化行事に参加したり、クラブなどの学生活動に取り組みます。

学生の出身地 | 世界中から留学生が集う、真のグローバルキャンパス

交換留学生の
出身大学所在国・地域別人数

30カ国・地域
168名

※2023年9月1日現在(単位:名)

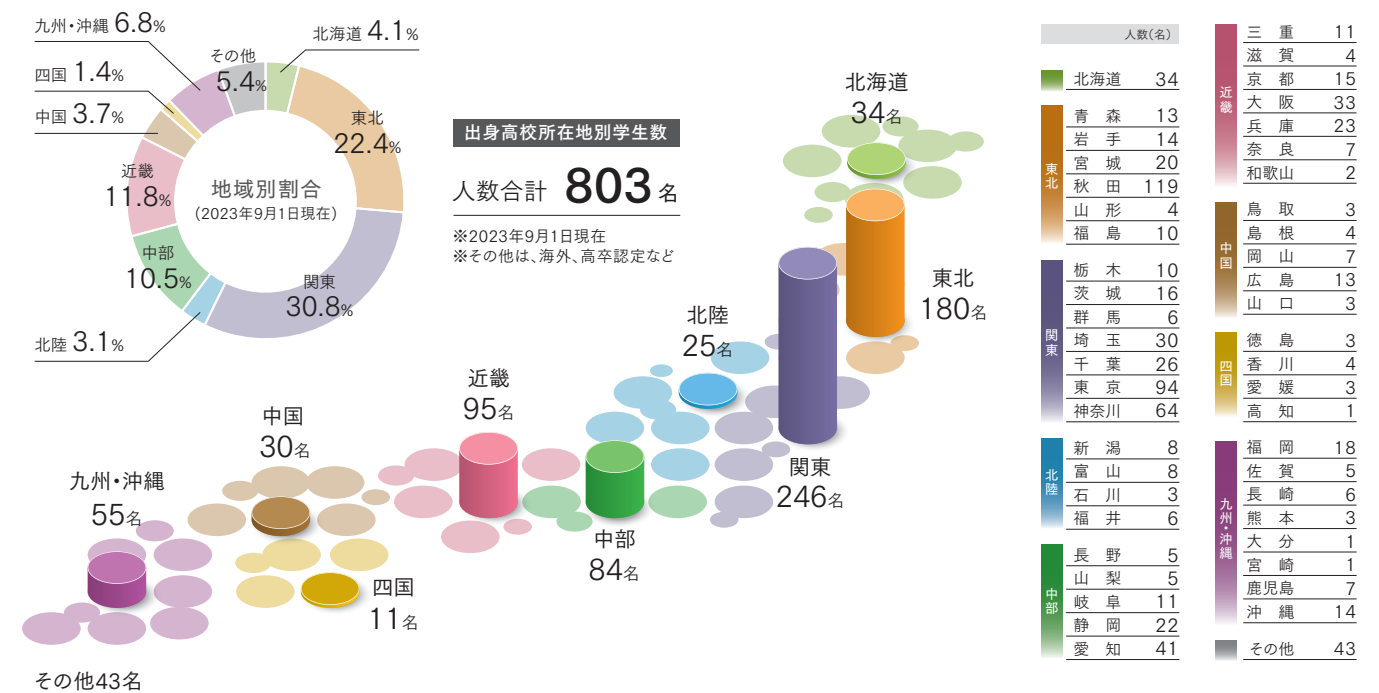
アメリカ 70	シンガポール 2	デンマーク 2	ブルネイ 1
アイルランド 1	スイス 1	ドイツ 4	ベルギー 1
イギリス 6	スウェーデン 3	ニュージーランド 2	ポーランド 1
エストニア 1	スペイン 2	ノルウェー 3	ボルガリア 4
オーストラリア 6	スロバキア 1	ハンガリー 1	香港 5
オランダ 8	スロベニア 2	フィンランド 5	リトアニア 1
カナダ 6	タイ 5	フランス 10	ロシア 4
韓国 3	台湾 7		

正規留学生の国・地域別人数

8カ国・地域
14名

※2023年9月1日現在(単位:名)

アメリカ 2	ウガンダ 1	ベトナム 3
インド 1	韓国 1	モンゴル 1
インドネシア 1	台湾 4	



Student Dormitory and Student Apartments

学生の88%が、キャンパス内の学生寮・学生宿舎で生活

キャンパス内での共同生活も、国際教養を培う大切な機会です。文化・習慣の違いを尊重しつつ、誰もが快適に過ごせるよう、話し合いながら最善の方法を見つけ出す——それはまさに、グローバルリーダーの資質です。

Student Dormitory

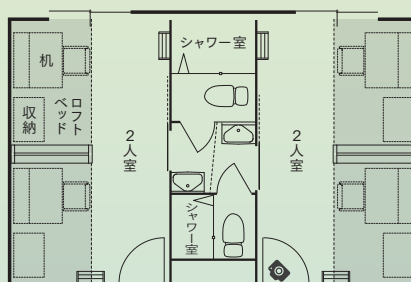
学生寮〈こまち寮〉

1年次の寮生活が義務

新入生は全員、キャンパス内にある学生寮で生活します。「こまち寮」は最大4人で1つのユニットをシェアする形式です。文化・習慣の違いを理解し、違いを乗り越えるためのコミュニケーション能力を養う1年間となります。また、膨大な時間に及ぶ自主学修と自分らしい生活を両立させる術を身につけていく期間でもあります。ここで培った多文化共生の力は、後の留学でも大いに発揮されます。



2023年4月にリニューアルオープンしました。



※写真は、間取り図のカメラマークの角度から撮影したものです。

ダブル仕様 ※原則、2人部屋として使用

部屋数	160室+バリアフリー4室
間取り	14㎡（居室）
家賃	28,000円～30,000円

※寮生活では、ミールプラン（朝昼夕の食事）の購入が必須となっています。春学期（4か月）と秋学期（4か月）は、ミールプランの食事が提供されます。GW、夏休み、年末年始、冬期間（1月から3月）などの食事は含まれていません。ミールプラン金額：約250,000円（春学期+秋学期）

※家賃：1人あたり／月
※光熱水費、インターネット使用料含む。退去時清掃費用を別途お支払いいただきます。



日常で非日常を経験できる場所

ドイツから来た留学生と生活しています。授業や課題を終えて部屋に帰ると迎え入れてくれる人がいる、私にとって心温まる場所です。何気ない会話からドイツとの文化の違いに興味を持ち、留学先も検討するといった国際交流を日常的に経験できます。休日には寮の共用キッチンで自炊をしています。調理器具やWi-Fiも設置されており、十分な設備のもとで料理を楽しむことができます。入学当初は共同生活に不安がありましたが、留学生も日本語を学びに来ているため、互いに学びを深め合いながら楽しく生活できています。義務寮への不安を抱く受験生もいるかもしれませんが、思いやりと志を持って過ごすことで充実した大学生活のスタートを切ることができます。

齊藤 一輝
秋田県／2023年入学 **Kazuki SAITO**

レジデント・
アシスタント(RA)

／ 私たちがサポートします！ ／



寮や宿舎では、既に1年間の寮生活を経験した先輩がレジデント・アシスタント(RA)としてともに生活します。RAは、居住者の生活が快適になるように行動し、居住者同士のコミュニケーションが活発に行われるような環境づくりをサポートします。

Student Apartments

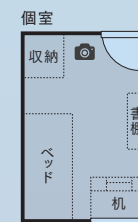
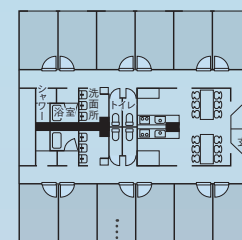
学生宿舎

1年間の寮生活を終えた学生は生活の場を自由に選べますが、ほとんどの学生はキャンパスにとどまり、学生宿舎で生活します。多文化環境で生活する術を身につけた学生たちが、ときに助け合い、ときには刺激し合いながら、共同生活を送っています。

※学生宿舎は3種類あり、自由に選べます。
ただし、留学生の入居が優先され、入居希望者が定員に達した場合は抽選となります。

つばきヴィレッジ（12名の学生によるシェアハウス形式）

2022年にオープンしたつばきヴィレッジは12の居室と共有スペースを備えた宿舎です。



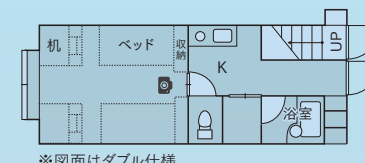
シングル仕様

部屋数	252室+バリアフリー3室
間取り	213㎡（共用部+居室9㎡×12）
家賃	48,000～50,000円

※家賃：1人あたり／月 ※光熱水費、インターネット使用料含む。退去時清掃費用を別途お支払いいただきます。



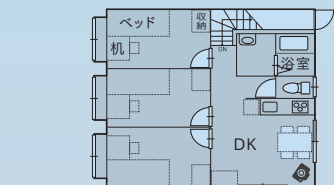
グローバルヴィレッジ



※図面はダブル仕様

	シングル仕様	ダブル仕様
部屋数	100室+バリアフリー4室	92室
間取り	20㎡（K+居室9㎡）	26㎡（K+居室13㎡）
家賃	52,000～54,000円	31,000～33,000円

さくらヴィレッジ（3名の学生によるシェアハウス形式）



シングル仕様

部屋数	105室+バリアフリー2室
間取り	53㎡（DK+居室9㎡×3）
家賃	48,000～50,000円

安心していただいとえる場所

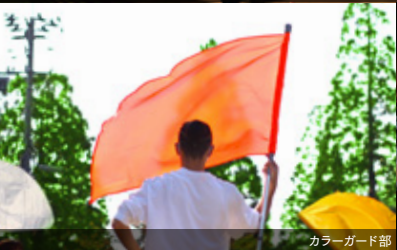
私は約2年間、つばきヴィレッジで生活をしています。これまでにアメリカ、ノルウェー、メキシコなどさまざまな国からの留学生と共同生活を送ってきました。留学生が伝統料理pan de muerto(死者の日に食べるパン)を作ってくれたり、友達とアップルパイを作ったことがとても印象に残っています。楽しい時間を過ごしつつ、自室でひとりの時間も大切にできるところも学生宿舎の魅力です。授業の課題やクラブ活動に追われながら、入学からずっと一緒に住み続けてきたルームメイトたちと、たくさん支えあって生活してきました。ときに大変な学生生活で、安心して帰れる場所は自分にとってすごく大切で、AIUにおける実家のような存在です！

根本 天羽
北海道／2022年入学 **Amo NEMOTO**

Student Activities



国籍や学年の垣根を越えて交流を深めていく



クラブ一覧（2023年度秋学期実績）

文化部	音楽・舞踏	運動部	言語系・国際理解
<ul style="list-style-type: none"> AIU学生赤十字奉仕団 AIUを広め隊 会う輪 FROM PROJECT 秋田 ハッピーピープルイン秋田 きものクラブ 茶道部 震災復興サポーター パイプスタディ部 ボードゲーム部 AIUマルシェ 	<ul style="list-style-type: none"> アカペラ部あいう 軽音楽部 ジャズ研究会 ダンス部 日本舞踊部 ハワイアンフラダンス部 ミュージカルシアター 弦楽アンサンブルサークル カラーガード部 	<ul style="list-style-type: none"> 弓道部 剣道部 硬式テニス部 女子フットサル ESPERANZA ソフトテニス部 男子フットサル GPIAS 軟式野球部 バスケットボール部 バレーボール部 フライングディスク部 ラグビー部 ワンダーフォーゲル部 卓球部 	<ul style="list-style-type: none"> V-ACT ディベート部 手話サークル ダイバーシティクラブ 北東アジア学生ラウンドテーブル 模擬国連部 秋田県高校留学推進委員会
特別団体			
<ul style="list-style-type: none"> AIU竿燈会 			

大学公式Instagramでは
クラブ活動の様子を紹介しています



#ONEが行く



学生生活

Q & A



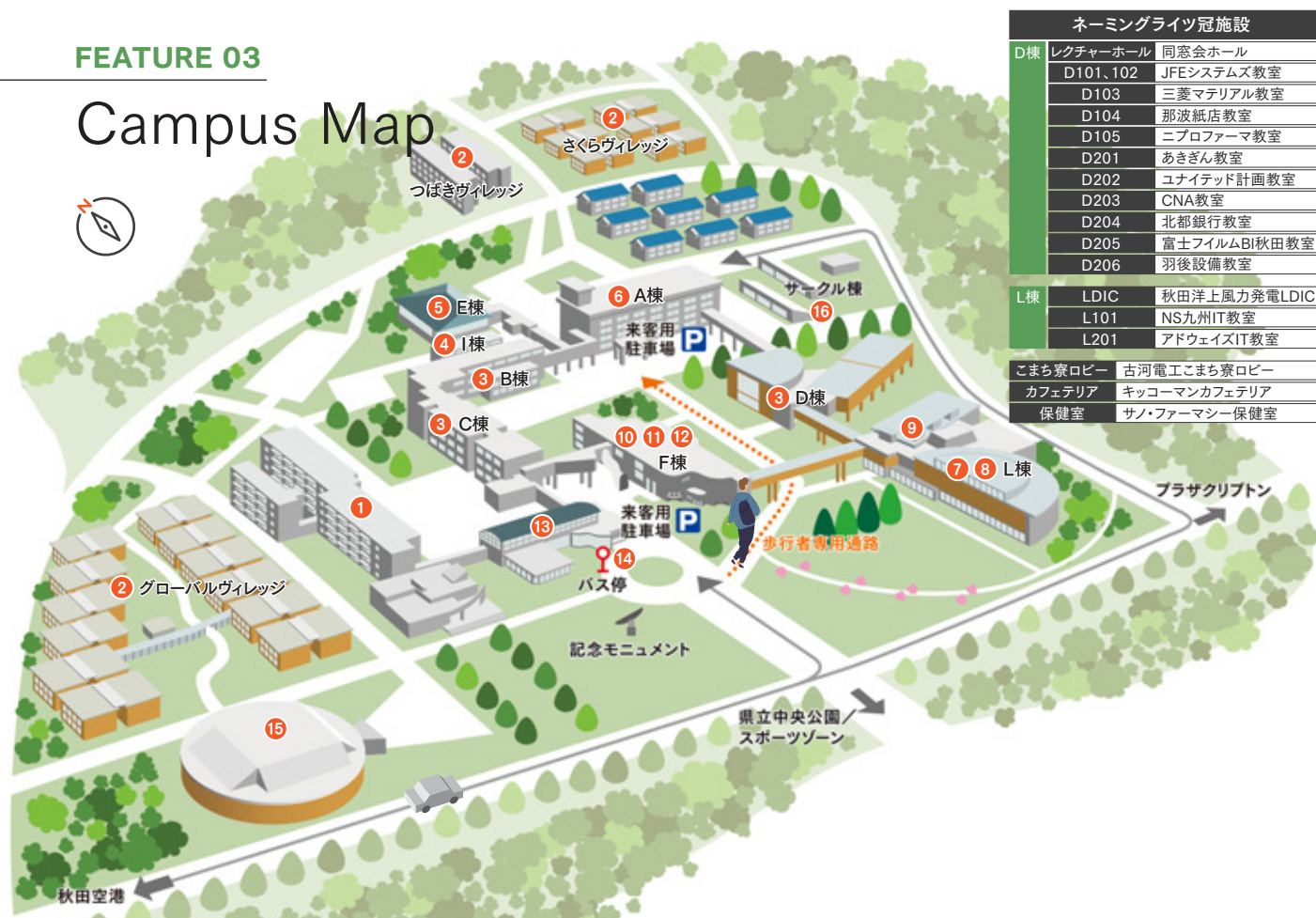
よくある質問 Frequently Asked Questions

- Q1** 留学経験がありません。授業についていくことはできますか。
- A.** 1年以上の留学経験者、帰国子女は例年新生の2割程度です。1年次は英語集中プログラム(EAP)で、「英語で学ぶ」ためのアカデミック・イングリッシュ(学術英語)を実践的に学びます。オリエンテーション期間中にTOEFL ITP®テストを受験いただき、自分の実力に合ったレベルからスタートするため、個々の学生の英語力に合った学修によって効率よく力を伸ばしていきます。EAPを修了する頃には、大学で学ぶために必要なことが英語でできるようになり、「英語で学ぶ」準備が整います。そのため、英語に自信がない学生も授業についていくための英語力が身につきます。勉強についていけないと不安を感じたり、成績が下がったり、試験の結果が目標に達しない場合等には、学修達成センター(AAC)で個別指導を受けることもできます。
- Q2** 学生寮のルームシェアについて教えてください。
- A.** 学生寮では、国内外からの学生との共同生活や交流を通じて相互理解を深め共同体意識を醸成するため、1年間の寮生活が義務づけられており原則としてルームシェアの生活を経験します。ルームメイトは、正規学生(1年生)や留学生で、大学がルームメイトを指定します。また、短期間(数日間から1.5カ月)のプログラムに参加する学生とのルームシェアをすることもあります。
- Q3** 学生寮、学生宿舎での生活で、食事はどのようにしていますか？
- A.** 学内にはカフェテリア、カレッジカフェがあり、食事を提供しています。売店では、食料品(おにぎりやパン)を販売しています。学生寮では、義務となる1年間の寮滞在期間において、正しい食生活をおくることができるようカフェテリアのミールプランに加入していただきます。平日の朝・昼・夕食のプランです。ゴールデンウィーク、長期休暇期間(夏休み・年末年始・春休み)及び冬期プログラム期間(1月~3月)は含みません。土日祝日のミールプランも販売されているので、希望する場合には購入することができます。学生寮の部屋では調理できませんが1階には、共同で利用できるキッチンが整備されています。学生宿舎では、各部屋にキッチンがあるので自炊することが可能です。カフェテリアでは、新入生以外でもミールプランを購入することができ、ミールプラン以外のメニュー(定食や麺類)を購入することもできます。
- Q4** 学生寮、学生宿舎での生活で洗濯・掃除はどうしていますか？
- A.** 学内に、有料の洗濯機と乾燥機を設置したランドリールームが4か所あり、学生寮、学生宿舎の多くの居住者が利用しています。清掃は居住者が行います。部屋、バス・トイレ等を共同で利用している場合は、居住者同士で話し合いをして清掃を行います。
- Q5** 学生寮に消灯時間や門限はありますか？
- A.** 消灯時間は設けていませんが、静粛時間を設けています。門限も設けておりませんが、学生寮内の居室フロアは24時間施錠されており、寮生以外は入ることができません。このほかにも、学生寮、学生宿舎では、生活する上でのルールが定められています。学生寮、学生宿舎での生活は共同生活です。他人に対する配慮が求められます。
- Q6** 留学生との交流の機会はありますか。
- A.** 本学では、留学生と日本人学生がAIUというコミュニティの中で生活することになります。日常生活の中で、授業、クラブ活動、イベント参加等を通して、世界各国の留学生と交流を深めることができ、世界の文化、政治、経済等を論じ合うことができることが本学の特色です。
- Q7** アルバイトはできますか。
- A.** 本学では授業以外に宿題も多いため、特に英語集中プログラム(EAP)期間中はアルバイトをする時間はあまりないかもしれません。しかし、大学生活に徐々に慣れてくると時間を調整して、勉強やクラブ活動、アルバイト等を行っている学生もいます。アルバイトの情報は、学内システム(ATOMS)等で学生に紹介されます。また、自分でアルバイト先を探す学生も多くいます。
- Q8** 生活必需品や書籍はどこで購入しますか。
- A.** 大学近隣の店で購入できます。秋田市御所野地区にはイオンモール秋田等の大型ショッピングセンターがあります。また、学内には売店とATMがあります。売店では、書籍、文房具、日用雑貨、食品、本学グッズ等を取り扱っています。その他、郵便、宅配便、公共料金の支払い、寝具レンタル受付等が可能です。
- Q9** 秋田市中心部へ出かける時はどのようにして行くことができますか。
- A.** 大学からJR和田駅まで路線バスで移動し(所要時間15分程度、片道200円)、電車に乗り換え、JR和田駅からJR秋田駅に行くことができます(所要時間13分、片道240円)。大学からイオンモール秋田まで路線バスを利用し(所要時間約15分、片道200円)、イオンモール秋田からJR秋田駅まで路線バスを利用して、JR秋田駅に行くこともできます(所要時間30分、片道500円~550円)。※土日祝はイオンモール秋田・秋田駅間で無料シャトルバスが運行しています。

このQ&Aは2023年7月現在の内容であり、今後変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。本学では、ウェブサイトにて定期的に大学行事や入試情報等、本学に関する最新情報をお知らせしていますので、ぜひアクセスしてみてください。 <https://web.aiu.ac.jp>



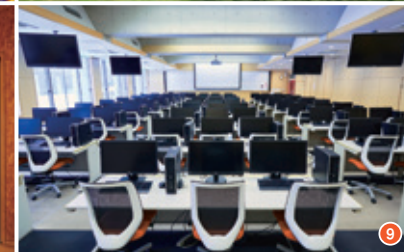
Campus Map



ネーミングライツ冠施設		
D棟	レクチャーホール	同窓会ホール
	D101、102	JFEシステムズ教室
	D103	三菱マテリアル教室
	D104	那波紙店教室
	D105	ニプロファーマ教室
	D201	あきぎん教室
	D202	ユナイテッド計画教室
	D203	CNA教室
L棟	D204	北都銀行教室
	D205	富士フイルムBI秋田教室
	D206	羽後設備教室
	LDIC	秋田洋上風力発電LDIC
こまち寮ロビー		古河電工こまち寮ロビー
カフェテリア		キッコーマンカフェテリア
保健室		サノ・ファーマシー保健室

多くの学生が学び暮らす
機能的なキャンパス

24時間365日休むことなく機能する「学修・居住一体型キャンパス」です。講義や演習が行われる教室はもちろん、自主学修や学生活動をサポートする施設やサービスも充実。カフェテリアやカレッジカフェは学生の空腹を満たすだけでなく、学生同士や教職員との対話が弾む場となっています。



1 学生寮(こまち寮) ▶ P.54

新入生は全員この学生寮に入寮し、入学後の1年間、共同生活を行います。

2 学生宿舎 ▶ P.55

つばきヴィレッジ／さくらヴィレッジ／グローバルヴィレッジ
1年間の寮生活を終えた学生は、学内の学生宿舎で生活するか、学外の民間アパートや自宅から大学へ通学します。

3 講義棟(B・C・D棟)

3つの講義棟では、授業が行われるほか、D棟の同窓会ホール(レクチャーホール)は公開講座などにも使用されます。

4 学生イニシアティブセンター(I棟)

このセンターでは、24時間リベラルアーツ教育推進を目指したテーマ別ハウスの活動や、英語教育改革のためのイングリッシュビレッジ、ティーチャーズセミナーなどを開催しています。

5 保健室／カウンセリングルーム(E棟)

保健室では看護師が常駐し、体調がすぐれない時や、けがをした時などの応急処置を行っています。また、カウンセリングルームでは常勤のカウンセラーがメンタルヘルスから学業、交友関係、自己理解の悩みまで、幅広く相談に応じています。

6 管理棟(A棟)

学長室、教員オフィス、事務局などがあります。

7 能動的学修センター(L棟) ▶ P.24

学生の自律学修をサポートする、言語異文化学修センターと学修達成センター、国内外への大学院進学をサポートするアカデミック・キャリア支援センター、数理的能力の強化を支援する超域学修ルームからなる複合施設です。

8 中嶋記念図書館(L棟) ▶ P.22

24時間365日開館の図書館では、約8万冊の蔵書と豊富な電子リソースを取り揃えています。

9 IT教室(L棟)

3つのIT教室(コンピュータールーム)があり、合計約100台のWindows端末が設置されています。図書館と同様、24時間365日利用できます。なお、Wi-Fiはキャンパス全域で利用することができます。

10 学生会館(F棟)

学生活動の拠点となる施設で、レクリエーションスペース、ラーニングスペース、和室、カレッジカフェ、AIU Shop、就職支援を行うキャリア開発センター、海外大学との提携や学生の海外派遣・留学生の受入手続きなどを行う国際センターがあります。

11 AIU Shop(F棟)

お弁当・パン類、飲み物、菓子類や文房具、日用品まで、学生生活に必要なものが揃っています。また、大学グッズも販売しています。

12 カレッジカフェ(F棟)

軽食やコーヒーなどを楽しむことができるカフェスペースです。週替わりのランチメニューもあり、天気の良い日はオープンテラスを利用することもできます。

13 カフェテリア

明るく開放的で、食事のほか、催し物やパーティにも使われる交流の舞台です。

14 バス停

国際教養大学前のバス停からは、イオンモール秋田行きとJR和田駅行きの2つのバス路線を利用できます。多くの学生が、休み時間や放課後、休日を利用して買い物などを楽しんでいます。

15 Suda Hall (多目的ホール)

式典やコンサート、スポーツイベントなどに使われる施設です。トレーニングジムも設置されています。

16 Student Cabin (学生活動スペース)

先輩、後輩の垣根を越えて、互いに交流を深める場として設置され、多くの学生が利用しています。

多彩な可能性を広げる 進路選択支援

Career Support

主体的な進路選択を後押しする徹底した個別サポート

国際教養大学で培われる統合知と人間力は、一人ひとりの将来の可能性を広げます。その大きな力を、社会のどこでどのように活かすのか、そのビジョンは学生一人ひとり異なるはずです。だから本学のキャリアサポートは、徹底した個別対応。明確な進路を描いている人にも将来像がうまく描けない人にもスタッフがともに考え、各人に最適な進路選択を支えます。

キャリア開発支援は 入学直後から

入学直後から社会人になるまで、さらには将来の転職支援まで、一人ひとりが「いま必要な支援」を提供します。

2023年度就職決定率 100%

誰もが知る大企業から、世界を変革しうるスタートアップ企業まで。業界は幅広く、勤務地も国内外にわたります。

進学先は 世界の大学院

卒業生の15%が国内外の名門大学院へ。希望どおりの進学をアカデミック・キャリア支援センターが支えます。

学生の多様な進路選択を支える拠点

キャリア開発センター

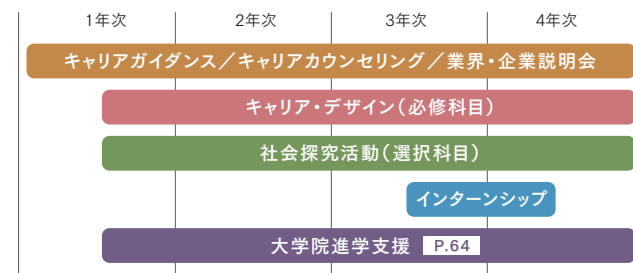
CDC: Career Development Center

就職活動の支援だけでなく、学生一人ひとりのキャリア開発を広く支援する拠点です。在学生に向けたガイダンス・カウンセリングの実施や各種情報提供に加え、卒業生のキャリアアップ支援にも取り組んでいます。



国際教養大学のキャリア開発支援体制

一人ひとりに、必要なときに必要な支援ができる体制



キャリア開発科目(基礎科目群)

■ キャリア・デザイン(必修科目)

自己分析や労働市場への理解、学生同士や社会人との対話などを通して、自分はどう生きるのか、そのために何をどう学ぶのかを考える機会を提供する授業です。

■ 社会探究活動(選択科目)

自分で探し出した企業・団体で、最低80時間から320時間以上の社会探究活動を行い、働くことの意義に気づくとともに、社会人としてのマナーも身につけます。

キャリア開発・就職支援プログラム

■ キャリアガイダンス(全体)

学生個人のキャリア発達を促すことを目的に、集団で行う講座を入学直後から開催します。キャリアとは、単なる“職選び”ではないことが理解できるでしょう。

■ キャリアカウンセリング(個別)

学生の成長度合いに応じた個別支援を、4年間を通じて実施します。漠然とした不安の解消から具体的な就活対策まで、学生とともに考えてアドバイスします。

■ 業界・企業説明会

各業界の動向や具体的な仕事内容を理解するためのイベントを、産業界や官公庁と連携して数多く開催します。低年次からの積極的な参加を期待します。

■ インターンシップ(3省合意に基づくもの)

企業の採用活動にも直結する、文部科学省・厚生労働省・経済産業省の合意に基づく正規「インターンシップ」に参加する学生をサポートします。

特色ある支援

内定者がホットなアドバイス

既に内定を勝ち取った在学生からなる「キャリアサポーター」が、実体験に基づく支援を提供。エントリーシートへの添削やSNSを通じた最新の情報発信を行います。



たくましい先輩たちが強力サポート

本学で身につけた力を社会で発揮しながら、現在もキャリアアップに挑んでいる卒業生が、OB・OG訪問の受け入れや卒業生座談会などを通して就活生を支えます。

どこにいても支援が受けられる

留学中の学生や実家に滞在する学生にも、オンラインによる個別相談などを行います。留学先でのジョブフェア情報の提供など、海外での就職活動もサポートします。

企業の人事部門が就活生を支援

各業界を代表する企業の人事部門に依頼して、業界セミナーや模擬面接講座を開催しています。本学と企業の連携により、本学学生にマッチした内容となっています。

Message

スタートラインに立つ前も その後も、あなたと併走します

企業の採用活動は、今後も大きく変わっていきます。画一的な「就活マニュアル」は、もはや役に立ちません。頼りになるのは、この大学で身につけたあなた自身の力です。その力を社会のどんな分野でどのように活かすのかを、自分で選択して主体的に行動できるよう、私たちキャリア開発センターは大学と社会との関係強化に努めるとともに、あなたと一緒に考えてサポートします。就職というスタートラインに立った後のキャリアアップ・キャリアチェンジも含めて、長きにわたるあなたのキャリア開発に私たちが併走します。

ほぼすべての業界に偏りなく就職していることが特長です。

あらゆる分野で卒業生が活躍しています

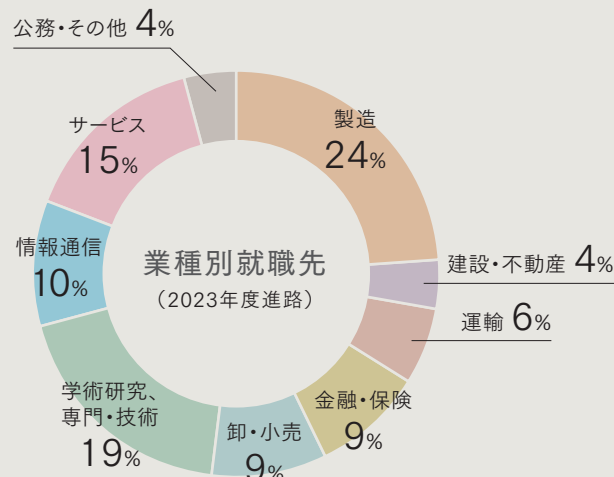
幅広い学問領域の知識を統合して問題解決に取り組むことのできる本学卒業生は、活躍の場を限定されることがありません。

就職先が示す学生の選択

卒業生の進路は、リストに挙げた企業だけではなくありません。可能性を秘めた中小企業やベンチャー企業、学生起業まで実にさまざま。「何がしたいか」を重視して学生自身が選んだ結果です。

活躍の場はボーダレス

入学直後から徹底して英語力を鍛え、外国人教員や留学生との対話を通して異文化コミュニケーション能力を培った卒業生は、言語や文化の壁を越えて世界中で能力を発揮しています。



商社への実就職率 全国 2 位
(対 学生比率)

*「2022年著名400社業種別実就職率 商社編」(大学通信)による。

留学先で日本の技術力を再認識し、日本企業の国際部門を志望する学生が数多くいます。



全日本空輸株式会社

OMCオペレーションマネジメント部(運航支援者)

橘 拓弥さん

多角的に見つめ自分の答えを導く

日本の空を飛び交う国内線の運航支援を担当しています。お客様を安全に目的地にお連れすることが使命です。作成する飛行実施計画は安全に直結するため、気象や運航に関する知識やスキルを積極的に学びにいく姿勢を大切にしています。AIUで身につけた、多角的視点から物事を見つめて自分の答えを導き出す力が役立っています。



株式会社JERA

LNG統括部LNG契約部LNG契約第一ユニット

倉持 あゆみさん

不確実性に飛び込む度胸を手中に

発電用の燃料を海外から調達する部署で、豪州・アジア地域とのLNG売買契約を管理しています。大切にしているのはOwnership。目的を明確にし、責任を持って物事を進めるよう意識しています。留学先・政治的变化真っ只中のアメリカで過ごした1年間で、不確実性に飛び込み主体的に考え行動する力を培ってくれたと思います。



合同会社秋田里山デザイン

代表(創業者)

大西 克直さん

搾取しないビジネスを目標に起業

学生時代にシンガポールで社会起業を学び、リサーチペーパーでフェアトレードを研究した成果を基に、直輸入ブランド「さとやまコーヒー」を起業し、運営しています。自然環境や生産者から搾取しないビジネスモデルの実現という目標を持って働くことができています。いまの仕事では、自分の意志に従って生きている感覚を持つことができています。

社会で活躍する先輩たち

Messages from Alumni

※所属は取材当時のもの



伊藤忠商事株式会社

食料カンパニー・食品流通部門

飯島 悠希さん

多様な価値観への適応力を培った

食品業界への原材料供給や商品開発を中心に、新規事業にも挑戦しています。AIUで多様な価値観に揉まれる経験で培った、どんな環境でもまずは自分を適応させようとする柔軟さや忍耐力を大切に、取り組んでいます。自分が関わった商品やサービスが消費者に届き、暮らしに貢献していることを実感できたとき、やりがいを感じます。



アマゾンジャパン合同会社

Data Center Services Procurement

恵本 智紀さん

世界を席卷するIT企業で能力を発揮

大手重工業メーカー勤務を経て現在の職場へ。多くの場面で日本人は自分だけという真に国際的な環境で、能力や専門性を発揮して活躍できることが魅力です。高校までは日本を出たことすらなかった自分が、このような舞台で仕事ができるのは、AIUで世界に通じる教養や異文化コミュニケーション能力を養えたからだと思います。



スズキ株式会社

人事部 人事第一グループ

碓谷 健太さん

社員と配属先の感謝の言葉が糧に

新入社員の受入/教育/配属業務を担当。多様化する人材の個々の魅力を伸ばし、活躍できるような環境を整えています。大きな責任が伴う反面、社員たちや配属先から感謝の言葉をもらえたときは喜びもひとしお。「多様な意見から最適解を構築する」というAIUでの経験を活かして社内外と連携し「小さなクルマ、大きな未来」のために邁進しています。

大学院進学支援

国際教養を土台に、さらに高度な専門性を

本学で身につけた幅広い知識を土台にして、高度かつ専門的な学修・研究を志す学生の大学院進学を支援します。これまでに多くの学生が国内外の大学院・専門職大学院に進学しています。

ACSC アカデミック・キャリア支援センター Academic Career Support Center

大学院進学を検討している学生に対し、アカデミック・アドバイザーの教員と連携した個別支援や、適切な情報提供などを通じた支援を行っています。

進路相談	個別またはグループでの相談に応じています。内容は、進路目標や関心分野の明確化、費用や奨学金の紹介、出願に向けた具体的な助言など多岐にわたります。
講演会	国内外の大学院に進学し、修士課程を修了した本学卒業生などを講師として招き、大学院での学修・研究および大学院修了後の多様なキャリア形成について紹介します。
講習会	ACSCコーディネーター教員などによる講習会を開催。大学院進学の手続きなどを紹介しています。

国内外の大学院との連携

SOASロンドン大学との連携

SOASはヨーロッパを代表する高等教育機関の1つ。本学は2020年度から同大学と提携しており、所定の基準を満たす学部卒業生は、SOASでの1年間の大学院修士課程へ、プログレッション・ルートを利用して出願できます。



SOASロンドン大学

奈良先端科学技術大学院大学 (NAIST) との連携

2023年度にNAISTとの包括協定を締結しました。所定の基準を満たす学部卒業生は、NAISTの先端科学技術研究科先端科学技術専攻(情報科学区分、バイオサイエンス区分、物質創成科学区分)のいずれかに推薦入学制度を利用して出願できます。



海外大学院進学者の声

国際・開発研究大学院 国際開発研究課程 人権と人道主義専攻

The Graduate Institute of International and Development Studies

原 直哉さん 2022年3月卒業(愛知県)

人権に関わる実践者から学ぶ恵まれた環境

AIUで学びきれなかった強制移動と難民保護を人権という観点から研究したいと考えました。進学先は、国連機関や人権、人道支援に携わるNGOが多く拠点を置くスイス・ジュネーブにあり、カリキュラムの1/4を占める応用研究と実践では、各機関やNGOと共同で研究できます。また、各分野の第一線で活躍するプラクティショナーから講義が受けられ、私自身もインターンシップなどを通して貢献できる環境が魅力です。AIU在学中は、多彩な授業を通して人権と難民保護について理解を深め、これらの授業で得た知見は、大学院での研究や学びを豊かにし、多様な分野の問題が絡み合う人権と強制移動の研究に必要な観点を提供してくれる基礎となっています。

大学院合格実績

※2020年度～2022年度

オックスフォード大学大学院 (イギリス)
ケンブリッジ大学大学院 (イギリス)
ロンドン・スクール・オブ・エコノミクス (LSE) (イギリス)
サセックス大学大学院 (イギリス)
SOASロンドン大学大学院 (イギリス)
グラスゴー大学大学院 (イギリス)
ダラム大学大学院 (イギリス)
ノッティンガム大学大学院 (イギリス)
INSEAD(インシアード) (フランス)
国際・開発研究大学院 (スイス)
ボローニャ大学大学院 (イタリア)
インディアナ大学大学院 (アメリカ)
サンフランシスコ州立大学大学院 (アメリカ)
延世大学大学院 (韓国)
香港大学大学院 (香港)
国立中山大学大学院 (台湾)
東京大学大学院
東京大学公共政策大学院
京都大学大学院
一橋大学大学院
早稲田大学大学院
名古屋大学大学院
東北大学会計大学院
国際教養大学専門職大学院 ほか

Message from Graduate Student



右が原さん

国際教養大学 専門職大学院

Professional Graduate School



専門職大学院の概要

国際教養大学は、国際社会で活躍するための実践力をさらに高める場として、専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科を設置しています。同研究科は3つの領域を持ち、それぞれ英語教育、日本語教育および国際報道・広報・交渉などの分野に長年従事してきた実務経験豊富な教員から、世界の第一線で活躍するうえで必要となる知識を修得し、専門家としてのスキルを磨くことができます。

研究科名 専攻名	グローバル・コミュニケーション実践研究科 グローバル・コミュニケーション実践専攻	研究科長・専攻長： 内田 浩樹
領域名／ 学位名称	英語教育実践領域／英語教育修士(専門職) 日本語教育実践領域／日本語教育修士(専門職) 発信力実践領域／発信力実践修士(専門職)	領域代表：内田 浩樹 領域代表：左治木 敦子 領域代表：谷川 幹
標準修業年限	2年	
入学定員	30名	

英語教育実践領域

英語教育理論を教育現場に
応用する具体的方策

4技能を育む
実践的な指導論

学習者の意欲を
高めるアプローチ

理論をいかにして実際の教室に応用しうるかを徹底して議論します。英語指導上の問題発見能力を身につけ、問題への具体的なソリューションを提案し、実践できる教員を養成します。教員専修免許状(英語)の取得が可能です。

日本語教育実践領域

外国語としての日本語教育に必要な
音声学・統語論・外国語教授法・評価法・
第二言語習得理論・語彙などの理論科目

3期にわたる実習実践を通じた
理論の応用と教育方法の習得

高度な専門知識と教授技術を身につけ、かつ英語でのコミュニケーション能力を持った日本語教師を養成します。国内に限らず海外の日本語教育機関においても活躍できる日本語教師の養成を目指しています。

発信力実践領域

広報とメディアに関する
理論と実践

ディベート、国際交渉、
通訳のスキル

新聞記事などの
メディアコンテンツの作成

メディアと国際社会との関係を深く理解し、ジャーナリズム、国際広報、そして国際ビジネスに要する高度なコミュニケーションの実践的能力を身につけた「グローバル人材」を養成します。

専門職大学院の選考・学費

2025年度 入学者の 選考日程	秋選考 2024年9月17日(火)～ 9月26日(木)	選考方法	入学者の選考は、書類選考のみにより行います。志望理由および学修計画書、推薦状、英語能力・日本語能力などを総合的に判断して選考します。
	冬選考 2024年12月2日(月)～12月11日(水)	入学金 (初年度のみ)	県内学生 282,000円 県外学生 423,000円
	春選考 2025年4月11日(金)～ 4月21日(月)	授業料 (年間)	696,000円

国際教養大学 専門職大学院の詳細については「大学院案内」をご覧ください。大学ウェブサイトより請求可能です。
お問い合わせ先 >> 国際教養大学 アドミッションズ・オフィス TEL:018-886-5931 E-MAIL:info@aiu.ac.jp



多様な人材を発掘する入試制度

Admissions

定員／国際教養学部175名

向上心とチャレンジ精神にあふれる多様な学生と出会うために

多彩な能力や資質を備えた学生と出会うために、個性的な入試を数多く実施しています。「ギャップイヤー入試」「グローバル・ワークショップ入試」といった本学独自の入試を導入し、グローバルリーダーを目指す向上心や挑戦する気概を持った学生の発掘に努めています。入学時期は、4月と9月の年2回。10月の特別選抜から翌年7月の特別選抜(9月入学)まで最大6回の受験チャンス进行、熱意あふれる皆さんの挑戦をお待ちしています。

すべて
Web出願

入試日程 Admissions Schedule

2024年		2025年					
10月	11月	1月	2月	3月	4月	7月	9月
特別 選抜試験 P.68	特別 選抜試験 P.68	大学入学 共通テスト	一般 選抜試験 P.70	一般 選抜試験 P.70	特別 選抜試験 P.69	特別 選抜試験 P.69	9月 入学
●グローバル・セミナー入試 ●グローバル・ ワークショップ入試 ●総合選抜型入試Ⅰ	●学校推薦型入試 ●社会人入試 ●外国人留学生入試Ⅰ ●編入学・転入学試験Ⅰ		●A日程 ●B日程	●C日程	●編入学・転入学 試験Ⅱ ●外国人留学生 入試Ⅱ	●総合選抜型 入試Ⅱ	
	●ギャップイヤー入試						

OPEN CAMPUS

2024年度オープンキャンパス開催日程

第1回 7月14日 日

第2回 9月15日 日

詳細はコチラ



Anno AMAYA

天谷 杏乃

大阪府／2023年入学

入試タイプ 総合選抜型入試Ⅰ

「自分にしかできないこと」を考え、 自分の個性を強くアピール

高校では課題探究活動に力を入れ、食品ロスやナウル共和国の健康増進について研究し、全国高校生フォーラムなどで発表しました。また毎週英作文を書いたり、外国人の方とのディスカッションを通して英語力を高めました。当初は学校推薦型と一般選抜のみを受験するつもりでしたが、オープンキャンパスで先輩が「チャンスを増やすために」と総合選抜Ⅰを勧めてくださり、受験を決意。総合選抜Ⅰは自分の個性を強くアピールできると思い、自分らしさを伝えるための努力をしました。入試では自分にしかできないことは何かを深く考え、自分なりの見方や考え方をもちことが大事です。皆さんとキャンパスでお会いできるのを楽しみにしています！

An SAWAI

澤井 杏

静岡県／2023年入学

入試タイプ 学校推薦型入試

英語力の増強とともに、 定期テスト対策にも力を入れた

私は中学時代からAIUで学びたいと強く思っていたので、受けられる試験はすべて挑戦しようと考えていました。グローバルワークショップ入試を受験しましたが不合格となり、学校推薦型にチャレンジ。推薦は小論文や面接などの準備に時間を要しますが、対面で自分の熱意をアピールできると思い受験を決めました。勉強では英語資格の取得に力を入れたほか、英語小論文は実際の試験より短い時間設定で練習するなど、工夫して対策しました。学校推薦型では学校の成績が重要な評価基準となるので、定期テストも高得点をめざして努力しました。日ごろからしっかり勉強したことで、推薦型の準備に時間を割くことができたと思います。

Sai FUKAGAWA

深川 裁

福岡県／2023年入学

入試タイプ 一般選抜A日程

共通テスト対策では基礎を徹底、 毎日の積み重ねが実を結ぶ

A日程は共通テストの配点が高く、他大学と併願しやすいのが魅力でした。まんべんなくいろいろな科目を含めた入試形態が、自分には合っていたと思います。共通テスト対策では基礎を重視し、数学はしっかり教科書を読んでから演習を行い、古文は文法を理解してから読解に取り組むなどの工夫をしました。二次試験に関しては、前に英語のエッセイを書いた経験があったので共通テスト後に勉強を始めました。ALTの先生にエッセイの構成を教えてください、納得がいくまで何度も書いて添削をお願いしました。AIUに入学し、想像以上に意義深い生活を送っています。受験は大変ですが、毎日の努力の積み重ねがいつか必ず実を結ぶと思います。

Kazuki OKUMURA

奥村 一輝

東京都／2023年入学

入試タイプ 一般選抜B日程

積極的に本や新聞を読み、 どんな科目も好奇心を持って学んだ

一般選抜は独自のA・B・C日程で、他の国公立大学の入試日と重ならないのが利点です。私は合格の確率を上げるために全日程での受験を決めました。英語が得意というタイプではなかったので、受験勉強では基礎固めに力を入れました。英検2〜準1級レベルの英作文を先生に添削していただき、力がついたタイミングで過去問を解き始めてALTの先生に添削をお願いしました。また小論文対策に本や新聞を読み、トピックになりそうな社会問題を常に意識しました。勉強で大切にしていたことは、どんな科目でも「面白いな」と思うポイントを見つけ、楽しむことです。模試の結果が悪くても、受かると信じて自分を鼓舞しました。自分を信じて頑張ってください！

入試制度一覧

特別選抜試験(2025年4月入学)

大学入学共通テストを利用しない試験

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	英語資格	個別学力検査	試験日
グローバル・セミナー入試 (15名)	●	秋田県内の高校生を対象とした制度です。年2回開催するグローバル・セミナーで作成・提出した2点のレポート、面接、高等学校の調査書や自己アピール書などに基づき、総合的に評価します。 ●出願資格・要件 →秋田県内の高校生で、3年次にセミナーに1回以上参加した者	不要	●面接 (日本語・英語) 会場 秋田	2024年 10月19日(土)
グローバル・ワークショップ入試 (5名)	★	自己アピール書、調査書、グローバル・ワークショップで作成・提出したレポート、同ワークショップでの活動および面接に基づき、総合的に評価します。 ●出願資格・要件 →2024年度グローバル・ワークショップに参加した者			
総合選抜型入試Ⅰ (10名)	★	書類選考により、高い英語能力または海外での経験の評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力、表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のいずれかに該当する者 →右記の英語資格を有する者 →高校在学中に1年程度留学し、30単位程度認められた者 →日本国内において国際バカロレアのDiploma Programを修了し、最終試験6科目に合格した者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC CBT 1000 TEAP 300 他	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	2024年 10月19日(土) 20日(日)
学校推薦型入試 (35名)	★	書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、課外活動などに特に積極的に取り組んだか、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のいずれかに該当する者 →高等学校長の推薦、全体の学習成績の状況4.0以上、右記の英語資格を有する者 →学業やスポーツ、文化活動などの特定分野で、国際大会出場あるいは日本国内の全国規模の大会等で優秀な成績を修めた者(英語資格要件なし)	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 45 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 840 英検2級 GTEC CBT 800 TEAP 230 他		2024年 11月23日(土) 24日(日)
社会人入試 (若干名)	★	一定の年齢に達した社会人を対象とした制度です。書類選考により、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →入学時に23歳以上で、右記の英語資格を有する者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 45 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 840 英検準2級 他		
外国人留学生入試Ⅰ (若干名)	●	国内外で学校教育における12年の課程を修了した外国人を対象とした制度です。書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、志願理由書により学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のすべてに該当する者 →日本国籍を有しない者 →学校教育における12年の課程を修了している者 →各国の大学入学資格を満たしている者 →右記の英語資格を有する者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC CBT 1000 TEAP 300 他	●書類選考	
編入学・転入学試験Ⅰ 2年次(7名)	●	国内外の大学、短大などを卒業、または1年以上(3年次は2年以上)在籍した方を対象とした制度です。書類選考により、本学への編入に足る学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上にあるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →大学、短大、高等専門学校、専修学校の専門課程を卒業した者、または2025年3月までに卒業見込みの者。あるいは大学において1年以上(3年次は2年以上)在学した者、または2025年3月までに同要件を満たす者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 71 (3年次は79) IELTS™ 6.5	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) 会場 秋田	
編入学・転入学試験Ⅰ 3年次(1名)	●				

※詳細は、「入学者選抜要項」および各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

特別選抜試験(2025年9月入学)

大学入学共通テストを利用しない試験

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	英語資格	個別学力検査	試験日
ギャップイヤー入試 (5名)	★	4月～8月までのギャップイヤー期間に行う独自の活動について計画書を提出し、面接を通して問題意識や意欲を評価します。 ●出願資格・要件 →高等学校または中等教育学校を卒業した者または2025年3月までに卒業見込みの者。または通常の12年の学校教育を修了した者および2025年3月までに修了見込みの者	なし	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) [会場] 秋田	2024年 11月23日(土) 24日(日)
外国人留学生入試Ⅱ (若干名)	●	国内外で学校教育における12年の課程を修了した外国人を対象とした制度です。書類選考により、幅広い基礎学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上であるかなどを評価するとともに、志願理由書により学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のすべてに該当する者 →日本国籍を有しない者 →学校教育における12年の課程を修了している者 →各国の大学入学資格を満たしている者 →右記の英語資格を有する者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC CBT 1000 TEAP 300 他	●書類選考	
編入学・転入学試験Ⅱ 2年次(1名)	●	国内外の大学、短大などを卒業または1年以上(3年次は2年以上)在籍した方を対象とした制度です。書類選考により、本学への編入に足る学力を十分に備えているか、英語能力が一定の水準以上にあるかなどを評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力や表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 71 (3年次は79) IELTS™ 6.5	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) [会場] 秋田	
編入学・転入学試験Ⅱ 3年次(1名)	●	●出願資格・要件 →大学、短大、高等専門学校、専修学校の専門課程を卒業した者または2025年8月までに卒業見込みの者。あるいは大学において1年以上(3年次は2年以上)在学した者または2025年8月までに同要件を満たす者			

2024年9月入学					
総合選抜型入試Ⅱ (5名)	★	書類選考により、高い英語能力または海外での経験を評価するとともに、英語小論文と面接により、読解力、表現力、論理的思考力および学習意欲を評価します。 ●出願資格・要件: 次のいずれかに該当する者 →右記の英語資格を有する者 →高校在学中に1年程度留学し、30単位程度認められた者 →日本国内において国際バカロレアのDiploma Programを修了し、最終試験6科目に合格した者	いずれか1つ TOEFL iBT® TEST 61 TOEIC® (L&R+S&W) TEST 1100 英検準1級 GTEC CBT 1000 TEAP 300 他	●面接 (日本語・英語) ●筆記試験 (英語小論文) [会場] 秋田	2024年 7月30日(火) (2024年 9月1日入学)

※詳細は、「入学者選抜要項」および各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

一般選抜試験(2025年4月入学)

大学入学共通テストを利用する試験

1次試験として大学入学共通テストを課し、2次試験として個別学力検査を実施します。
 本学のA・B・C日程と、他の国公立大学の前・中・後期日程は併願することができます。

入試の種類と定員	●併願 ★専願	概要と出願資格など	個別学力検査	試験日	会場
A日程 (55名)	●	大学入学共通テスト(6教科) ●国語 ●外国語(『英語』)リーディングおよびリスニング ●地理歴史・公民(『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目 または、『地理総合/歴史総合/公共』の3つの出題範囲から、2つを選択解答)* ●数学(『数学I』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』から1科目)* ●理科(『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 または『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の4つの出題範囲から、2つを選択解答) ●情報(『情報I』)	●筆記試験 (国語・英語)	2025年 2月1日(土)	秋田・札幌・ 仙台・東京・ 名古屋・ 大阪・福岡
B日程 (40名)	●	大学入学共通テスト(3教科) ●外国語(『英語』)リーディングおよびリスニング ●次の①～⑤から2教科選択 ①国語 ②地理歴史・公民(『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、『公共、倫理』、『公共、政治・経済』から1科目 または、『地理総合/歴史総合/公共』の3つの出題範囲から、2つを選択解答)* ③数学(『数学I』、『数学I、数学A』、『数学II、数学B、数学C』から1科目)* ④理科(『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から1科目 または『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』の4つの出題範囲から、2つを選択解答) ⑤情報(『情報I』)		2025年 2月15日(土)	
C日程 (5名)	●	大学入学共通テスト(1教科) ●外国語(『英語』)リーディングおよびリスニング	●筆記試験 (英語小論文)	2025年 3月14日(金)	

※旧教育課程履修者に対する経過措置については募集要項をご確認ください。

英語資格保持者への
特例措置

一般選抜試験において、次のいずれかの英語資格試験のスコアまたは等級を保持する者については、受験した大学入学共通テストの英語科目を満点と換算し、可否判定します。(TOEFL iBT® TEST 72点以上、TOEIC® Listening & Reading TestとTOEIC® Speaking & Writing Testsの合計1200点以上、英検準1級以上、英検CBT準1級以上、英検S-CBT(1 day) 準1級以上、英検 S-Interview(2 day) 準1級以上、IELTS™ バンド6.5以上、GTEC CBT 1200以上、GTEC Advanced 1200以上、TEAP 360以上、TEAP (CBT)760以上、ケンブリッジ英語検定 B2 FirstおよびB2 First for Schools 176点以上)

特別科目等履修生制度

一般選抜試験において合格に至らなかった受験生のうち、成績優秀者で、学習意欲に満ち、本学への入学を強く希望する方を「特別科目等履修生」として登録します。
 1年間、正規学生と同様に単位を取得し、年度末に編入学試験を経て、次年度に正規生(2年次)となることのできる制度です。

2025年度入学における国際教養大学および国公立大学の一般選抜試験日程

2025年	国際教養大学			他の国公立大学	
	A日程	B日程	C日程	前期日程	中・後期日程
1月					
	大学入学共通テスト 1/18・19				
	出願受付 1/14~1/22	出願受付 1/17~1/31			
2月				2次試験出願受付 1/27~2/5	
	試験日 2/1				
	合格発表 2/13	試験日 2/15	出願受付 2/13~2/28		
	入学手続 2/14~2/20			前期日程試験 2/25~	
3月		合格発表 2/27			
		入学手続 2/28~3/6		合格発表 3/1~3/10	
				入学手続 ~3/15	中期日程試験 3/8以降
			試験日 3/14		後期日程試験 3/12以降
			合格発表 3/21		合格発表 3/20~3/24
			入学手続 3/24~3/26		入学手続 ~3/27

科目等履修生および聴講生について

本学では、正規学生と一緒に本学の授業を履修する科目等履修生と聴講生を受け入れています。
 履修可能科目、出願資格、受講料などの詳細は、アドミッションズ・オフィスまでお問い合わせください。

入学試験情報の詳細は、「入学者選抜要項」および
各試験の「学生募集要項」をご覧ください。

入学試験に関するお問い合わせ先

〒010-1292 秋田県秋田市雄和椿川字奥椿岱
 国際教養大学 アドミッションズ・オフィス
 TEL:018-886-5931 FAX:018-886-5910 E-MAIL: info@aiu.ac.jp

受験生応援サイト



最新の入試情報は、
こちらをご覧ください。

学費

入学金 (初年度のみ)	県内学生 282,000円
	県外学生 423,000円

授業料 (年間)	696,000円
-------------	----------

入学金 ＋ 授業料	1,119,000円
	秋田県出身者 978,000円

授業料の減免

本学は、高等教育の修学支援新制度の対象校です。この制度の適用者には、入学金、授業料の減免があります。また、この制度の申請対象外の学生には、大学独自の減免制度があります。減免額の詳細については、本学ウェブサイト参照してください。

留学中の学費
 授業料は相互免除(P.46)

学費・授業料の減免について
 詳細はこちらをご覧ください。



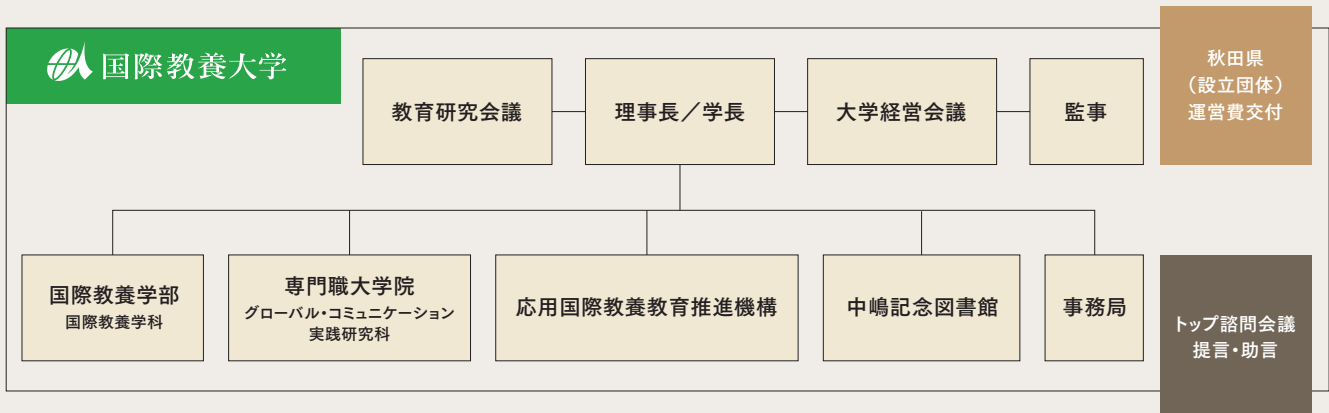
奨学寄附金

国際教養大学では、「学生、留学生等への奨学支援」「本学における教育活動への支援」などを目的として、「奨学寄附金」をお願いしています。寄附金は常時受け付けておりますので、ぜひご協力をお願い申し上げます。なお、寄附金には公立大学法人への寄附として、免税措置が講じられます。



国際教養大学 寄附金担当
 TEL:018-886-5900
 FAX:018-886-5910
 E-MAIL:info@aiu.ac.jp

国際教養大学組織図



奨学金

在学生には、以下の制度について紹介するとともに、奨学金の相談に応じています。
 また、ご寄附により、国際教養大学独自の奨学金制度を設けて学生をサポートしています。

AIU独自奨学金(給付)

名 称	金 額	資 格
AIU留学時成績優秀者 報奨奨学金（一時金）	100,000円	当該学期の翌学期に、大学が認める1年間の交換留学に出発する学生のうち、成績優秀者を大学が選抜。
AIUアンバサダー奨励金（回）	国内最大2万円／海外5万円	国際会議又は研究発表会に参加する予定の者で、その参加が本人、あるいは大学に有益と認められる場合、旅費、登録料等を一定額補助。
AIU秋田県出身学生奨学金 「わか杉奨学金」（学期）	80,100円／40,050円* [＊本学独自授業料減免適用者の場合]	2012年4月以降入学の秋田県出身学生のうち、本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。 ※審査は学期毎に行います。
AIU県外出身学生奨学金 「修学支援奨学金」（学期）	第1区分:80,100円／第2区分:53,400円 第3区分:26,700円／第4区分:20,100円	2012年4月以降入学の秋田県外出身の学部学生のうち、国の高等教育修学支援新制度の適用を受けている者で、なおかつ本制度に申請し、大学が定めた期日までに授業料を納付した者。
AIUふきのとう特別奨学金（回）	15万円 (年度毎の採用・在学中、 隔年で2回まで受給可能)	毎年1月の申請時点で、授業料減免、各種給付型奨学金が不適用の学生が対象。本人の申請を受けて、家計状況や成績等を大学が総合的に勘案し、選抜。

日本学生支援機構(JASSO)奨学金
(給付・貸与)

給付型奨学金および貸与型奨学金を取り扱っています。貸与型には、無利子の第1種奨学金と、有利子(最大年利3%)の第2種奨学金があります。月額額は、家計や通学方法によって異なります。JASSOのウェブサイト(https://www.jasso.go.jp)から、金額の詳細を確認してください。

地方公共団体・民間団体奨学金
(給付・貸与)

各都道府県・市町村などの地方自治体や民間団体などでは、独自の育英奨学事業が実施されており、入学後に大学事務局を通して申請できる奨学金があります。なお、募集対象、期間、給付・貸与などは支援団体によって異なります。

須田人財育成基金

この基金は、次世代社会を切り拓く科学技術に関する教育を充実させ、また、秋田県内への就職を促進して、地元科学技術産業の発展に長く貢献しうる人材を育成することを目的に創設されました。学生が県内企業と行う地域の課題解決活動に対する補助金や、卒業後に県内で就職する学生に向けた、貸与型奨学金の返還支援などに活用されています。

トップ諮問会議

委 員	明石 康	元国際連合事務次長／公益財団法人国立京都国際会館理事長
	大宅 映子	評論家／公益財団法人大宅社一文庫理事長
	佐藤 隆三	ニューヨーク大学大学院 C.V. スター財団冠講座名誉教授
	鈴木 典比古	広島県公立大学法人理事長
	須田 精一	YURIホールディングス株式会社取締役会長
	橋本 五郎	読売新聞特別編集委員
顧 問	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長／評論家

大学経営会議

		2024年4月1日現在
理 事 長	モンテ・カセム	国際教養大学学長
常務理事	磯貝 健	国際教養大学副学長
理 事	熊谷 嘉隆	国際教養大学副学長
	佐野 元彦	株式会社サノ・ホールディングス代表取締役 秋田商工会議所副会頭 一般社団法人 東北ニュービジネス協議会副会長
	木村 孟	元東京工業大学学長 東京工業大学名誉教授
	大西 隆	一般財団法人国土計画協会会長 東京大学名誉教授・豊橋技術科学大学名誉教授 元豊橋技術科学大学学長 元日本学術会議会長
	荒木 由季子	国立大学法人長岡技術科学大学経営協議会委員 富士製薬工業株式会社社外取締役 株式会社ナカニシ社外取締役 TOYO TIRE株式会社社外取締役 一般社団法人資源リバランス事業化研究会理事
委 員	安田 浩幸	秋田県教育委員会教育長
	小野 正則	国際教養大学学長特別補佐兼事務局長
監 事	堀井 照重	公認会計士／税理士
	山崎 裕子	山崎ダイカスト株式会社取締役